VoiceNavi

取扱説明書

02－WRX-7200/7700-UM-01　A021209

コンパクトフラシュ対応･ダイレクト録音　デジタル CM (コマーシャル) マシン　WRX7200
コンパクトフラシュ対応･ダイレクト録音　デジタルアナウンスマシン　WRX7700

このたびは、WRXシリーズをお買い上げ頂き、誠にありがとうございます。
本機の優れた機能をご理解頂き、末永くご愛用頂くためにも、この取扱説明書をよくお読み下さい。

録音できない場合	新規カード	1.全プロテクトスイッチが ON になっている場合 2.個別チャンネルプロテクトスイッチ 1～4 が ON になっている場合
	録音済カード	1.登録エディタで WAVE ファイル登録した場合で WRX001～4(8).wav 以外のファイル名の場合 2.全プロテクトスイッチが ON になっている場合 3.個別チャンネルスイッチ 1～4 が ON になっている場合
	その他	1.不適合な Flash カード「コンパクトフラシュ」を使用した場合 2.デジタルカメラのフォーマットになっている場合 3.DOS フォーマット以外の場合
録音上のご注意	上書き録音	WRX シリーズは「上書き録音」です。 録音をプロテクトする場合、全プロテクトスイッチ ON に設定して下さい。 または CH1～4 までの場合は、個別チャンネルプロテクトスイッチ ON でも録音禁止にできます。
	レベルオーバー	マイク･ライン入力には AGC がありません。レベルオーバーしないよう録音して下さい。 レベルオーバーした場合、その個所はビットノイズになります。
操作ボタン	プッシュロック	1～4 (8) はプッシュロック(オルタネイト)式を採用しています。 録音操作、マイク放送操作など REC または STOP ボタンとの同時操作の場合、ON 後、必ず、OFF にして下さい。 OFF にしない場合、再生状態になります。

適用メモリカード	必ず、指定メーカー･型式のカードをご使用下さい。 (参照　23.適用メモリカード) 使用できないタイプの Flash カード「コンパクトフラシュ」が有ります。 新規カードは WRX シリーズ上で初期化処理、または Windows パソコン上でフォーマットしてからご使用下さい。

ご注意 	●水、湿気、ほこり、油煙などの多い場所に設置しないで下さい。火災、故障、感電の原因になります。 ●本装置の接続、カードの挿入･交換、各種設定･変更の際は、感電事故を避けるため、必ず、電源を切ってから行って下さい。 ●本装置の定格範囲外で使用されますと、故障が起きたり、十分な機能が発揮できないことがあります。

VoiceNavi 三共電子株式会社
http://www.voicenavi.co.jp
E-mail:info@voicenavi.co.jp

目次

1	概要	3
2	特長	3
3	主な用途	3
4	商品構成	4
5	オプション	4
6	ダイレクト録音＆オート WAVE ファイルセーブ機能	4
7	録音･再生時間	5
8	用途別再生モード搭載	6
9	インターバルタイマー（間欠タイマー）搭載	6
10	マイク放送モード機能（5Wアンプ）	7
11	ノイズ等による自己復旧機能（アラーム出力）機能	7
12	適用電源	7
13	各部の名称と機能	8
14	ＬＥＤ表示	10
15	設定　モードスイッチ1	11
16	設定-再生モード	12
17	設定-インターバルタイマー　(適用再生モード-通常再生モード)	12
18	設定―全プロテクトスイッチ（録音･初期化処理･オールクリア処理の禁止）	12
19	設定-サンプリングモード（録音時の音質）	12
20	設定　個別チャンネルプロテクトスイッチ	13
21	マイク･ライン入力	13
22	スピーカー出力･ライン出力	14
23	適用メモリカード	15
24	設置･収納	15
25	接続･配線	16
26	操作･調整	19
27	操作-録音の準備	19
28	操作-新規カード録音	21
29	操作-追加録音･再録音	23
30	操作―再生	23
31	操作―再生モードの説明	25
32	操作―マイク放送モード(5W アンプ利用)	28
33	オールクリア処理（管理データファイル内容の消去）	29
34	初期化処理(不良セクター対策)	29
35	データのバックアップとコピー･再利用･編集加工	30
36	登録エディタ　VoiceNavi　Editor（VoiceMaker3）について	31
37	既存 WAVE ファイルを追加、プログラム登録（組立再生、リピート回数登録）したい場合	32
38	既存の WAVE ファイルを使用してカードデータを作成したい場合	34
39	ＷＡＶシリーズとのデータ互換性について	34
	標準仕様･外形寸法図	35
	入出力信号＆タイミングチャート	38
	等価回路	40
	接続参考図　接点制御，バイナリ制御	41
	接続参考図　シーケンサ等との接続例	42
	エラー対策シート（トラブルシューティング）	43
	【パソコン･カードアダプタ･登録エディタ　VoiceNavi　Editor（VoiceMaker3）がない場合】	
	【登録エディタ　VoiceNavi　Editor（VoiceMaker3）でカード作成したカードの場合】	

VoiceNavi

1. 概要

WRX7200 は、記憶媒体にデジタルカメラの Flash メモリカード 「コンパクトフラシュ」、44.1KHz/22.05KHz 16Bit/8Bit 高音質サンプリング、5W アンプ搭載、マイク放送モードを有する 4CH ダイレクト録音再生のデジタル CM マシンです。
使用用途に対応した 4 種類の再生モード、インターバルタイマー、マイク放送モードにより、押しボタン再生、センサー等外部機器起動再生、インターバルタイマー再生、ダイレクトのマイク放送により、より効果的な音声 POP･CM ができます。
録音データは録音終了時、オート WAVE ファイルセーブ機能により、WindowsOS の標準サウンドファイル「WAVE ファイル形式」でカード内に記録しますでの、パソコン上にバックアップ、録音データの編集加工もできます。
登録エディタソフト VoiceNavi Editor（VoiceMaker3）にも対応し、Windows パソコン上で試聴しながら、既存 WAVE ファイルの登録、組立再生やリピート回数などのプログラム登録、作成カードデータ情報の印刷もできます。
「WAVE ファイル」、登録エディタ VoiceNavi Editor（VoiceMaker3）により、音声データの追加･変更などの保守メンテナンスが容易にできます。

2. 特長

●MIC やライン入力による CD 音質 44.1KHz/22.05KHz 16Bit/8Bit ダイレクト録音
●記憶媒体に Flash メモリカード「コンパクトフラシュ」32/64/128/256 カード MB 対応。
●最大録音時間 44 分 max.（44.1KHz/16Bit 256MB カード使用時）
●5W 8Ω 高出力スピーカーアンプ搭載
●マイク放送モードにより、5W マイク放送ができます。
●600Ω不平衡ライン出力
●用途別 4 再生モード（通常/後入力切替/優先順位/順番）
●インターバルタイマー機能搭載 0/5/10/15 分
●登録エディタ VoiceNavi Editor（VoiceMaker3）対応
●WAV シリーズデータ互換（44.1/22.05KHz 8Bit データ時）

【WRX7200】
●4CH-接点制御 押しボタン(録音再生)/端子台(再生)
●EIA1U ハーフサイズ 210×44×180mm EIA ラック収納対応
●AC100V 電源
【WRX7700】
●8CH 接点制御-押しボタン/端子台 (録音再生)
●255CH-バイナリ制御(再生)
●EIA1U サイズ 420×44×180mm EIA ラック収納対応
●AC100V/DC+24V-2 電源対応

3. 主な用途

型式	主な用途	備考欄
WRX7200	スーパー/デパートの生鮮食品コーナーの音声 CM･POP	マイク放送機能でタイムサービス時、混雑時、マイクでアナウンスできます。
	駅自動改札口での注意放送･案内放送	
	駅券売･精算窓口での注意放送･案内放送	
	博物館･記念館の展示品案内	
WRX7700	PA（拡声）システムの音源	
	通信システムの音源	
	監視･制御システムの音源	255CH-バイナリ制御モード

4. 商品構成

下記の構成になっています。

名称	数量
本体(WRX7200 または WRX7700)	1台
取扱説明書･保証書	各1部

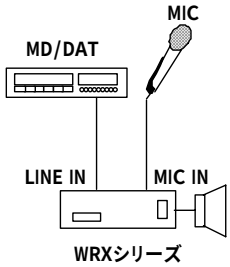
5. オプション

Flash カード	コンパクトフラシュ 32/6/128/256MB	市販品可(メーカー･型式指定) 【メーカー･型式】 IO データ CFS-32MA/64MA/128MA メルコ RCF-X32MY/X64MY/X128MY
マイクロフォン		市販品可 600Ω ミニプラグ
スピーカー		市販品可 5Wmax.8Ω
補助金具	WAV-EIA210S	WRX7200 1台を EIA ラックに収納する場合
	WAV-E/2S	WRX7200 2台を EIA ラックに収納する場合
	WAV-LKANAGU	L 金具 WRX7200/7700 を据置/固定する場合
	WAV-L44 または相当品	WRX7700 1台を EIA ラックに収納する場合
ソフト	登録エディタ VoiceNavi Editor (VoiceMaker3)	パソコン上で WAVE ファイル登録したい場合 無償ダウンロード版 CD 版/パック(CD＋カードアダプタ)
	シュミレータソフト VoiceNavi Simulator 2003/4 月リリース	パソコン上で、登録エディタ VoiceNavi Editor で作成したカードデータ、接点制御、バイナリ制御、RS232C 制御モードを指定して、再生シュミレーションできます
	実機再生試験用ソフト VoiceNavi Teser 2003/4 月リリース	実機を DIO ボード/RS232C でパソコンに接続して、バイナリ制御、RS232C 制御モードを指定し、アドレス入力、オールプレイで再生試験ができます。
	テキスト音声合成ソフト Smart Talk(沖電気製) 推奨品	テキスト音声合成ソフトで WAVE ファイルを作成したい場合 22.05KHz16Bit/8Bit Mono 男女

6. ダイレクト録音＆オート WAVE ファイルセーブ機能

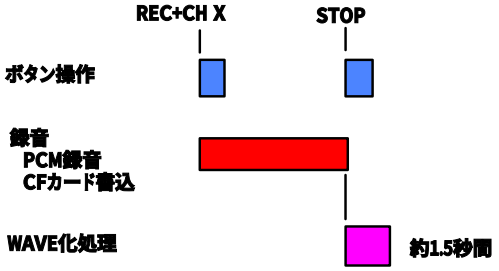
WRX シリーズは MIC や LINE 入力で、ダイレクトに Flash カード「コンパクトフラシュ」に 44.1/22.05KHz 16/8Bit 高音質録音ができます。
録音したデータは WindowsOS 標準サウンドファイル形式の WAVE ファイル形式で、Flash カードに記録しますので、パソコン上にバックアップ、データ加工などもできます。

【ダイレクト録音】



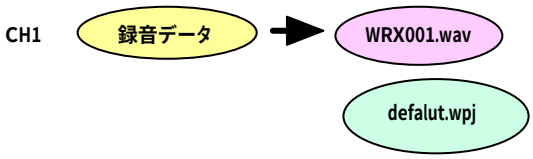
WRX シリーズは MIC や LINE 入力で、ダイレクトに Flash カード「コンパクトフラシュ」に 44.1/22.05KHz 16/8Bit 高音質録音ができます。

【オート WAVE ファイルセーブ機能 1】



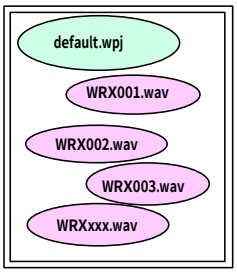
録音終了後、オート WAVE ファイルセーブ機能で WAVE ファイル形式にカード内に記録します。(約 1.5 秒間)

【オート WAVE ファイルセーブ機能 2】



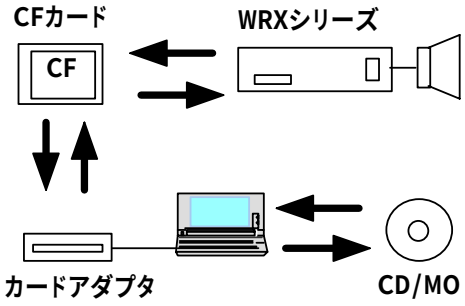
録音時はＣＦカードに PCM 形式で録音し、録音終了後、ＰＣＭ形式からWAVEファイルけいしきにファイルコンバート、同時にカードデータファイル defalt.wpj を自動作成･記録します。

【オート WAVE ファイルセーブ機能 3】



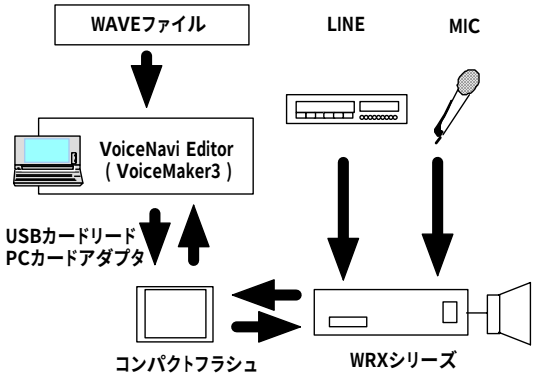
録音の都度、WAVE ファイル形式でセーブし、カードデータファイル defalt.wpj の内容を書き換えます。

【バックアップ＆コピー】



WRX シリーズでダイレクト録音したデータは DOS フォーマットの Flash カード「コンパクトフラシュ」に WAVE ファイル形式で記録されますので、カードアダプタを経由して、ハードディスク、CD-R 等にバックアップできます。
WAVE ファイル形式ですので、Windows パソコン上で試聴･編集加工できます。

【登録エディタ VoiceNavi Editor(VoiceMaker3)対応】



録音時に CF カード内に自動作成する defalt.wpj は登録エディタ VoiceNavi Editor(VoiceMaker3)の作成するカードデータファイルと同一形式ファイルを採用。
登録エディタ VoiceNavi Editor(VoiceMaker3)で WRX シリーズで録音したカードデータの読込み、プログラム登録、また既存の WAVE ファイルを使用して WRX シリーズ用のカードデータも作成できます。

7. 録音･再生時間

■録音時間

録音できる時間は録音時のサンプリングモード並びにカード容量による異なります。
サンプリングモードはリアパネルのモードスイッチで設定します。

	用途	No.	サンプリングモード	録音時間 max.			
				32MB	64MB	128MB	256MB
推奨	アナウンス･効果音･音楽	1	44.1KHz 16Bit Mono	5.6 分	11.2 分	22.4 分	44.8 分
推奨	アナウンス	2	22.05KHz 16Bit Mono	11.2 分	22.4 分	44.8 分	89.6 分
	アナウンス (WAV シリーズ互換)	3	44.1KHz 8Bit Mono	11.2 分	22.4 分	44.8 分	179.2 分
	アナウンス (WAV シリーズ互換)	4	22.05KHz 8Bit Mono	22.4 分	44.8 分	89.6 分	358.4 分

【混在サンプリング】
各チャンネルの録音の際、異なるサンプリングモードで録音できます。
アナウンスは 22.05KHz 16Bit モード、効果音は 44.1KHz 16Bit で録音することにより、メモリカードを有効に使用できます。
但し、WAV シリーズと互換性と持ちたい場合は、44.1KHz 8Bit(または 44.1KHz16Bit・・この場合、コンバートして 8Bit にします)

【16Bit/8Bit 録音時の録音時間と音質】
16Bit で録音した場合、録音時間(メモリ容量)では 8Bit 録音に比べ 1/2 になります。
音質は 8Bit 録音の 256 倍の分解能で録音しますので、高音質になります。
16Bit で録音することを推奨します。
但し、WAV シリーズと互換性と持ちたい場合は、44.1KHz 8Bit(または 44.1KHz16Bit・・この場合、コンバートして 8Bit にします)

■再生時間
本体でのダイレクト録音の場合、各チャンネルに録音した時間が再生時間になります。
登録エディタ VoiceNavi Editor(VoiceMaker3)で既存 WAVE ファイルを使用してカードデータを作成した場合、プログラム登録の有無、内容により増す。

ダイレクト録音の場合	各チャンネルに録音した時間	
登録エディタ VoiceNavi Editor (VoiceMaker3)でカード作成した場合	プログラム登録しない場合	各チャンネルに登録した WAVE ファイル時間
	プログラム登録した場合	組立再生登録、リピート回数登録した内容による

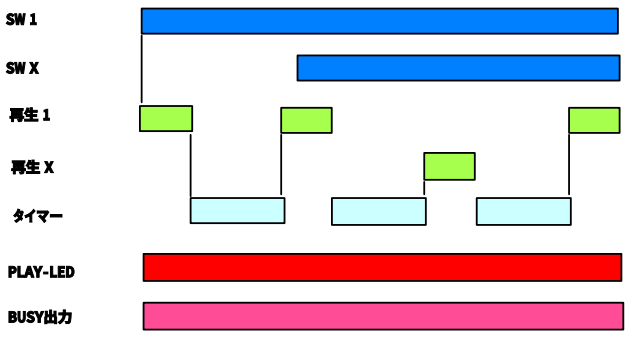
8. 用途別再生モード搭載

使用用途に合わせた再生モードを設定できます。

再生モード		インターバルタイマー	使用用途
接点制御	通常再生モード	○	ほとんどの全用途で使用できます
	後入力切替再生モード	×	設備の操作説明･音響演出
	優先順位再生モード	×	優先度の高い CH に即切替再生 CH8＜・・・・・・＜CH1
	順番再生モード	×	1 点出力タイマー装置による定時放送 音響演出･作業マニュアル案内装置
バイナリ制御	標準バイナリ制御モード (WRX7200 使用不可)	×	255CH 再生専用 (注)録音制御は不可

9. インターバルタイマー (間欠タイマー) 搭載

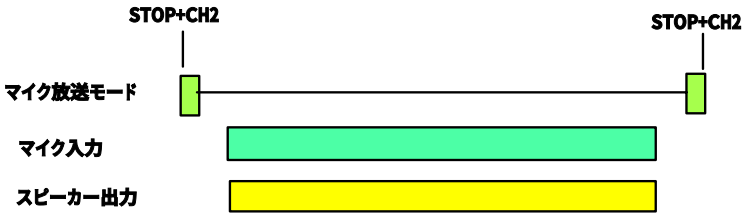
店頭 CM/POP 時、インターバルタイマーによる再生ができます。



再生モード：通常再生モード
タイマー時間：0/5/10/15 分

再生終了後に上記モードスイッチにて設定されたタイマー時間が作動します。
注タイマー作動中は、SW 入力を検知しません。
タイマー作動終了後、SW 入力を検知状態になります。
BUSY 出力は作動中 ON 出力します。(再生時間＋タイマー時間)

10. マイク放送モード機能（5Wアンプ）

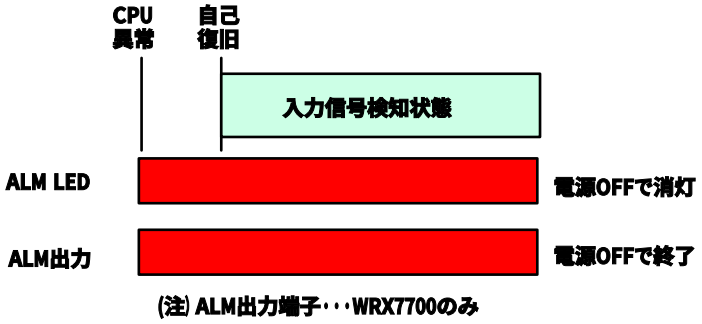


本モードを利用しますと、本体内蔵の 5W アンプを利用して、店頭 CM/POP 時や注意･案内などのマイク放送ができます。

11. ノイズ等による自己復旧機能（アラーム出力）機能

万一、外来ノイズ等により、WRX シリーズ上のＣＰＵが暴走した場合に、ウォッチドッグタイマーによりＣＰＵを強制リセットします。これにより、ＣＰＵはイニシャライズされ、入力信号待機状態になります。
WRX7200/7700 のＣＰＵが暴走し、自己復旧したことを知らせるため、フロントパネルのアラームＬＥＤは点灯し、 電源をＯＦＦするまで、保持します。（WRX7700 の場合、端子台出力 ALM も同様動作します）
万一、このような状態になった場合、電源ライン、信号ライン（スピーカー、ライン出力ラインも含む）などの周辺にノイズ発生源がないか、確認し、除去するか、ノイズ対策を行って下さい。

型式	LED 表示（ALM）	ALM 出力
WRX7200	○	×
WRX7700	○	○



自己復旧以降も電源 OFF するまで、点灯を保持します。

周囲にノイズ発生源がある場合はノイズ対策をして下さい。

本機能は、外来ノイズ等による CPU 異常時、作動します。
CPU 以外の部品、回路等の故障等では作動しませんのでご注意下さい。

12. 適用電源

WRX7200/7700 シリーズは商用 AC100V 電源に接続して使用します。
WRX7700 は DC+24V（または DC+12V）電源でもご使用できます。この場合、AC100V 電源は接続しないで下さい。

■商用 AC100V 電源で使用する場合

型式	AC 電源	DC 電源
WRX7200	AC100V 50/60Hz 24Wmax.	×
WRX7700	AC100V 50/60Hz 25Wmax.	○

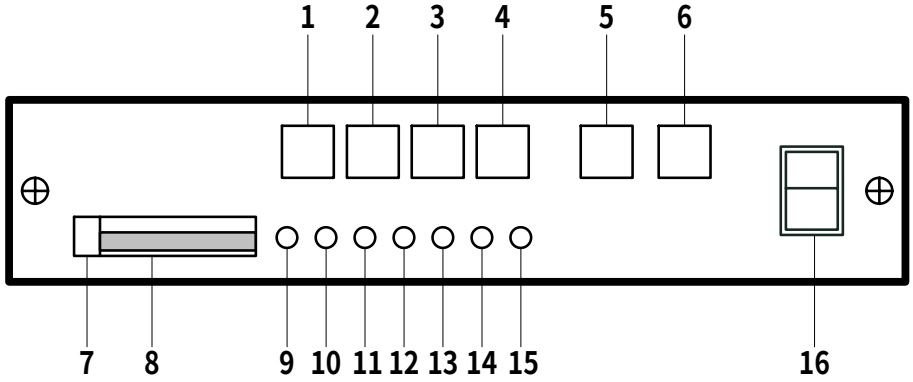
■WRX7700 を DC 電源で使用する場合

使用電源	電圧範囲	消費電流		備考
		待機時	動作時	
DC 電源	DC+24V±5%	約 150mA	約 500mA	SP OUT 5Wmax. 8Ω
	DC+12V±5%	約 220mA	約 400mA	SP OUT 1.2Wmax. 8Ω

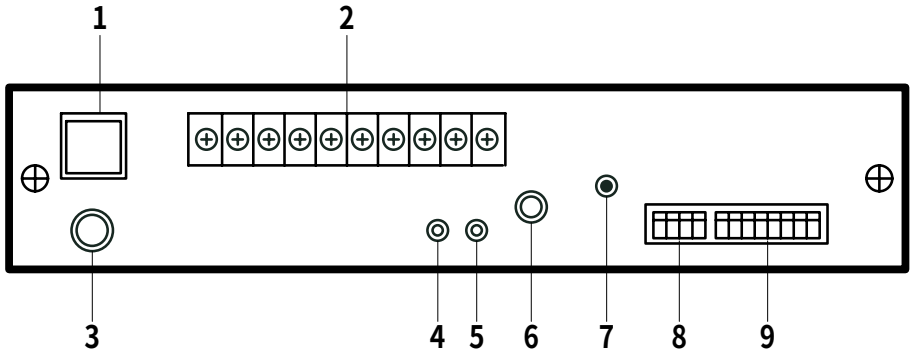
（注） WRX7700 に DC 電源を接続する場合、AC100V 電源は接続しないで下さい。

13. 各部の名称と機能

【WRX7200】

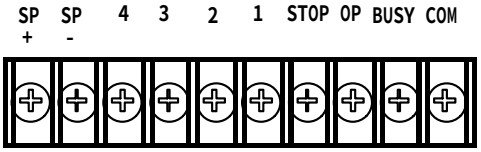


No	表示	名称	機能
1-4	1-4	チャンネルボタン 1-4	再生時/録音時/各種設定時使用
5	STOP	ストップボタン	再生時/録音時/各種設定時使用
6	REC	録音ボタン	録音時使用
7	EJECT	エジェクトボタン	CF カード排出用プッシュボタン
8	Flash Card	カードコネクタ	CF（コンパクトフラッシュ）カード用コネクタ
9	CD	カードイン LED	CF カードがコネクタ IN 時、点灯
10	PLAY	再生中 LED	再生中点灯　並びに各種エラー表示
11	REC	録音中 LED	録音中点灯
12	ER	エラーLED	初期化処理/オールクリア等各種処理時点灯
13	LEVEL	入力レベル LED	マイク入力のレベルオーバー時に点灯
14	ALM	アラーム LED	ノイズ等で CPU が暴走した場合に点灯、電源再投入で消灯
15	POWER	電源 LED	電源 ON 時、点灯
16	POWER	電源スイッチ	電源ＯＮ/ＯＦＦ



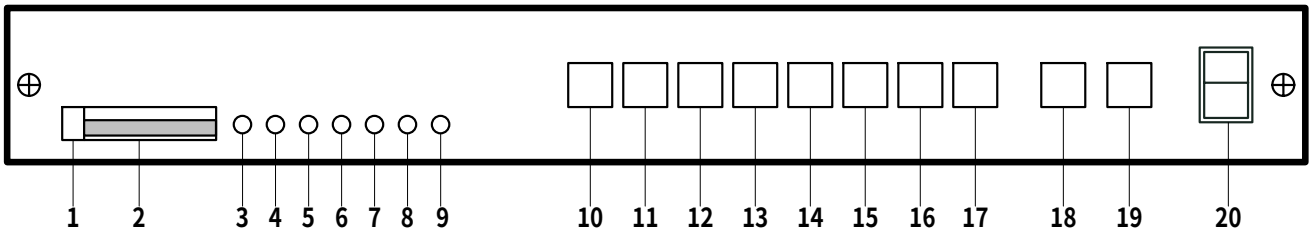
No	表示	名称	機能
1	FUSE	ヒューズホルダー	ヒューズ　2A
2		端子台	下記参照
3	AC IN	AC 電源コード	AC100V 電源と接続します。
4	MIC IN	マイク入力	マイク入力用ミニジャック
5	LINE IN	ライン入力	ライン入力用ミニジャック
6	LINE OUT	ライン出力	ライン出力用 RCA ピンジャック
7	VR	ボリューム	スピーカー出力用音量調整
8	MODE2	モード 2 スイッチ	録音プロテクトチャンネル設定用
9	MODE1	モード 1 スイッチ	制御モード，タイマー，録音サンプリング周波数設定用

【端子台】 M3×10P

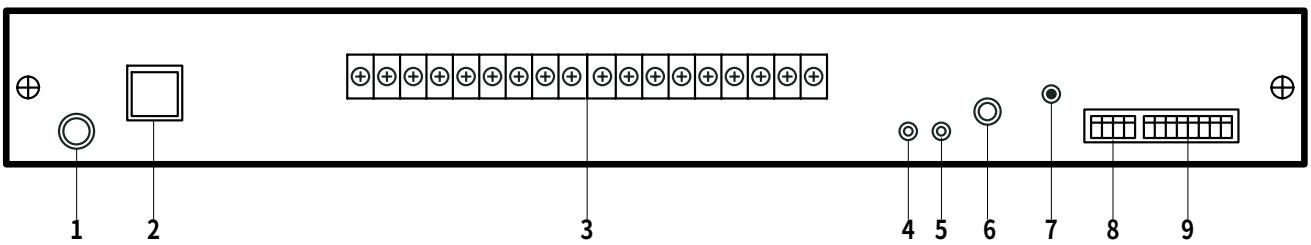


表示	名称	I/O	機能
SP+	スピーカー出力＋	O	5Wmax.8Ωスピーカーと接続します。
SP-	スピーカー出力-	O	5Wmax.8Ωスピーカーと接続します。
4	接点端子 4	I	接点制御 /SW4
3	接点端子 3	I	接点制御 /SW3
2	接点端子 2	I	接点制御 /SW2
1	接点端子 1	I	接点制御 /SW1
STOP	接点端子 STOP	I	接点制御 /STOP
OP	接点端子 OP	I	接点制御 /OP
BUSY	接点端子 BUSY	O	接点制御 /BUSY
COM	接点端子 COM		接点制御 COM

【WRX7700】

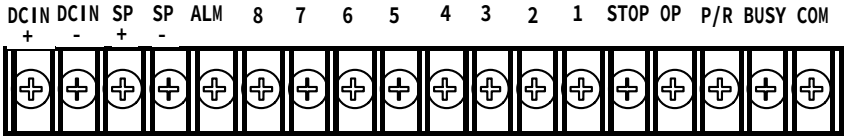


No	表示	名称	機能
1	EJECT	エジェクトボタン	CF カード排出用プッシュボタン
2	Flash Card	カードコネクタ	CF（コンパクトフラッシュ）カード用コネクタ
3	CD	カードイン LED	CF カードがコネクタ IN 時、点灯
4	PLAY	再生中 LED	再生中点灯 並びに各種エラー表示
5	REC	録音中 LED	録音中点灯
6	ER	エラーLED	初期化処理/オールクリア等各種処理時点灯
7	LEVEL	入力レベル LED	マイク入力のレベルオーバー時に点灯
8	ALM	アラーム LED	ノイズ等で CPU が暴走した場合に点灯、電源再投入で消灯
9	POWER	電源 LED	電源 ON 時、点灯
10－17	1-8	チャンネルボタン 1-8	再生時/録音時/各種設定時使用
18	STOP	ストップボタン	再生時/録音時/各種設定時使用
19	REC	録音ボタン	録音時使用
20	POWER	電源スイッチ	電源ON/OFF



No	表示	名称	機能
1	AC IN	AC 電源コード	AC100V 電源と接続します。
2	FUSE	ヒューズホルダー	ヒューズ 2A
3		端子台	下記参照
4	MIC IN	マイク入力	マイク入力用ミニジャック
5	LINE IN	ライン入力	ライン入力用ミニジャック
6	LINE OUT	ライン出力	ライン出力用 RCA ピンジャック
7	VR	ボリューム	スピーカー出力用音量調整
8	MODE2	モード 2 スイッチ	録音プロテクトチャンネル設定用
9	MODE1	モード 1 スイッチ	制御モード, タイマー, 録音サンプリング周波数設定用

【端子台】 M3×18P

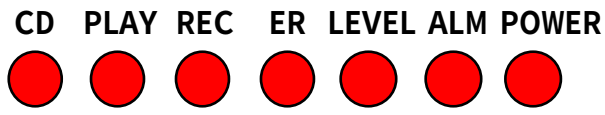


表示	名称	I/O	機能
DC IN+	DC 電源入力端子	I	DC+24V(+12V)電源を接続できます。 AC100V 電源接続不可
DC IN-	DC 電源 GND	I	DC 電源 GND
SP+	スピーカー出力＋	O	5Wmax.8Ωスピーカーと接続します。
SP-	スピーカー出力-	O	5Wmax.8Ωスピーカーと接続します。
ALM	接点端子 ALM	O	接点制御 ALM 出力 (注)電源 OFF まで出力保持します。
8	接点端子 8	I	接点制御 /SW8 (バイナリ制御 /D7)
7	接点端子 7	I	接点制御 /SW7 (バイナリ制御 /D6)
6	接点端子 6	I	接点制御 /SW6 (バイナリ制御 /D5)
5	接点端子 5	I	接点制御 /SW5 (バイナリ制御 /D4)
4	接点端子 4	I	接点制御 /SW4 (バイナリ制御 /D3)
3	接点端子 3	I	接点制御 /SW3 (バイナリ制御 /D2)
2	接点端子 2	I	接点制御 /SW2 (バイナリ制御 /D1)
1	接点端子 1	I	接点制御 /SW1 (バイナリ制御 /D0)
STOP	接点端子 STOP	I	接点制御 /STOP
OP	接点端子 OP	I	接点制御 /OP (バイナリ制御 /STB)
P/R	接点端子 P/R		接点制御 /REC
BUSY	接点端子 BUSY	O	接点制御 /BUSY
COM	接点端子 COM		接点制御 COM

14. LED表示

【LED 表示器】

【LED 表示】



LED1	CARD	CF カードがコネクタに装着されると点灯、排出されると消灯
LED2	PLAY	再生中点灯 ＆ エラー表示 (エラー対策シート参照)
LED3	REC	録音中点灯
LED4	ERR	初期化処理/オールクリア等各種処理時点灯
LED5	LEVEL	マイク入力のレベルオーバー時に点灯
LED6	ALM	ボードに CPU 異常が生じた時 (制御不能) に点灯、電源再投入で消灯
LED7	POWER	電源 (DC 電圧) 投入にて点灯

【LED動作表】

LED	点 滅	点 灯	消 灯
CD		CF カード IN	CF カード OUT
PLAY		再生中	再生終了
	CF カード内に xxx.wpj ファイルが存在しない時		電源オフ
	再生起動を行なった CH にファイルが存在しない時		1.ファイルが存在する、別な CH が起動された時 2.「STOP」入力
REC		録音中	録音終了
	録音中に CF カード内の残メモリ容量が 2MB になった時		1.録音終了（残メモリ容量ゼロ） 2.「STOP」入力
ERR	初期化処理の開始～終了		初期化終了
	オールクリア終了後 5 秒間		
	録音中に不良セクタの発生時		「STOP」入力
	CF カードのフォーマットが未対応時		電源オフ
		条件不成立時に「初期化」「オールクリア」「録音」の各処理を行なった時	「STOP」入力
LEVEL		入力信号（ライン or マイク）が最大の約 70%を超えた時	
ALM		CPU 異常が生じた時（制御不能） (注) 自動復旧機能で復旧した場合でも点灯しています。	電源オフでクリア
POWER		電源 ON	電源 OFF

15. 設定 モードスイッチ1 （再生モード・タイマー時間・全プロテクト SW・サンプリングモード）

MODE 1

名称	bit-No.	設定項目	設定内容
MODE1	1-3	再生モード	再生モードの設定
	4-5	タイマー時間	インターバルタイマーとして機能 適用再生モード：通常再生モード
	6	全プロテクトスイッチ設定	カード内の全データ削除防止
	7-8	サンプリングモード	録音時の音質の設定 サンプリング周波数：44.1KHz／22.05KHz ビット数：16Bit／8Bit

16. 設定-再生モード

再生モード詳細については後記参照。

1	2	3	4～8		再生モード	概要
				1	通常再生モード	ほとんどの全用途で使用できます インターバルタイマーが設定できます
●				2	後入力切替再生モード	設備の操作説明･音響演出
	●			3	優先順位再生モード	優先度の高い CH に即切り替え再生 CH8＜･･････＜CH1
●	●			4	順番再生モード	1 点出力タイマー装置による定時放送 音響演出･作業マニュアル案内装置
		●		5	空き	
●		●		6	空き	
	●	●		7	空き	
●	●	●		8	バイナリ制御	255CH 再生専用 (注)録音制御は不可

●－＞ON

17. 設定-インターバルタイマー (適用再生モード-通常再生モード)

再生終了後に上記モードスイッチにて設定されたタイマー時間が作動します。
タイマー作動中は、SW 入力を検知しません。タイマー作動終了後、SW 入力を検知状態になります。
BUSY 出力は作動中 ON 出力します。(再生時間＋タイマー時間)

適用再生モード：接点制御―通常再生モード (注)他の再生モードでは使用できません。

1～3	4	5	6～8		再生モード
				1	0 秒
	●			2	インターバルタイマー 5 分
		●		3	インターバルタイマー 10 分
	●	●		4	インターバルタイマー 15 分

●－＞ON

18. 設定―全プロテクトスイッチ (録音･初期化処理･オールクリア処理の禁止)

本スイッチが ON の場合は録音･初期化やオールクリア処理ができません。

1～5	6	7～8		プロテクト
			1	プロテクト無し
	●		2	プロテクト有効

●－＞ON

(注) MODE2 個別チャンネルプロテクトスイッチ 1～4 のいずれかが ON の場合もできません。

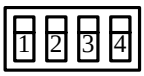
19. 設定-サンプリングモード (録音時の音質)

1～6	7	8		サンプリングモード	内容	備考
			1	**44.1KHz 16Bit mono**	高音質 CD 同等サンプリング	推奨
	●		2	**22.05KHz 16Bit mono**	中音質	推奨
		●	3	44.1KHz 8Bit mono	中音質 **WAV シリーズ互換**	
	●	●	4	22.05KHz 8Bit mono	中音質 **WAV シリーズ互換**	

●－＞ON

(注) 音質自体は、回路、使用電源等の性能により大きく依存します。
上記はあくまでもサンプリングの内容を記載しています

20. 設定 個別チャンネルプロテクトスイッチ



本スイッチが ON のチャンネルは録音ができません。
本スイッチのいずれかが ON の場合、オールクリア処理ができません。

名称	bit-No.	設定項目	設定内容
MODE2	1-4	個別 CH 録音禁止	1-4CH まで、個別に録音禁止設定ができます

1	2	3	4		CH No.	
●				1	1CH	1CH が録音できません。オールクリア処理もできません。
	●			2	2CH	2CH が録音できません。オールクリア処理もできません。
		●		3	3CH	3CH が録音できません。オールクリア処理もできません。
			●	8	4CH	4CH が録音できません。オールクリア処理もできません。

●ー＞ON

21. マイク･ライン入力

WRX7200/7700 の場合、マイクまたはライン入力で録音できます。

	コネクタ	適合インピーダンス	入力感度	備考欄
MIC IN	リアパネル ミニプラグ	600Ω	-65dBm (調整可)	LEVEL LED 点灯 入力レベル 70%以上
LINE IN	リアパネル ミニプラグ	10KΩ	-15dBm (調整可)	

【マイク入力録音上の注意】

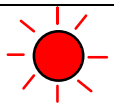
デジタル録音の CM/アナウンスマシンですが、マイク入力/ライン入力はアナログ回路です。
下記の事項に注意しながら録音して下さい。

録音環境	静音環境にして下さい。(特に、エアコン)
マイク	吐息対策のため、ウィンドブレーカー (ブレスブレーカー) がついているマイクを推奨。 マイクを一定距離に置いて、録音して下さい。
アナウンス	レベルオーバーしないように、マイクを一定距離、安定した声量で録音して下さい。 デジタル録音ですので、何回でも再録音できます。
サンプリングモード	周囲環境がうるさい･･･静音環境下でない場合 (マイク放送など) 44.1KHz 16Bit (または 22.05KHz 16Bit) で録音またはマイク放送して下さい。

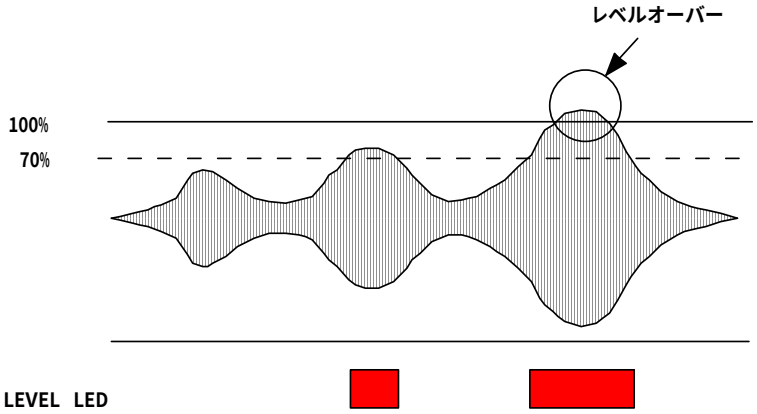
【マイク放送上の注意】

お客様がいるなどうるさい周囲環境下で、マイク放送する場合、サンプリングモード 44.1KHz 16Bit (または 22.05KHz 16Bit) に設定してマイク放送して下さい。

【フロントパネルの LEVEL LED 表示】
マイク入力が、70%を超えた場合、点灯します。
マイク入力回路には AGC 回路がありませんので、レベルオーバー(100%)しないように録音して下さい。
レベルオーバーの場合、オーバーした部分がビットノイズになります。

マイク入力レベル 70%未満	マイク入力レベル 70%以上
	

【マイク入力のレベルオーバー】



マイク入力が、70%を超えた場合、点灯します。

WRX7200/7700 のマイク入力回路には AGC 回路がありません。

レベルオーバー(100%)しないように録音して下さい。
レベルオーバーの場合、オーバーした部分がビットノイズになります。

【入力レベルを調整したい場合】
本体の上カバーをはずし、ボード上の半固定ボリュームを調整して下さい。

	調整個所	調整範囲	工場出荷時
マイク入力	ボード上半固定 VR1	約 4～13dB	約 8dB
ライン入力	ボード上半固定 VR2	約 -9～0dB	約 -5dB

22. スピーカー出力･ライン出力

WRX7200/7700 の場合、スピーカー出力とライン出力の 2 系統同時出力します。

名称	ジャック･端子台	出力
スピーカー出力	リアパネル 端子台 SP＋ SP-	5Wmax. 8Ω (注)WRX7700 DC 電源時 +24V 時 5W max. +12V 時 1.5Wmax.
ライン出力	リアパネル ピンジャック	600Ω 不平衡 約 0dB

【出力レベルを調整したい場合】

	調整個所	調整範囲	工場出荷時
スピーカー出力	リアパネル シャフト式可変ボリューム	約 0～5W	VR 位置 「中」
ライン出力	本体内ボード上半固定 VR3	約 -10～8dB	約 0dB

(注) ライン出力･･本体の上カバーをはずし、ボード上の半固定ボリュームを調整して下さい。

23. 適用メモリカード

下記のメモリカードがご使用できます。下記以外のメモリカードは動作保証外になります。

カード容量	指定メーカー･型式			
メーカー	メルコ	ハギワラシスコム	IO データ	
OEM 元	日立製作所	東芝	日立製作所	
32MB	RCF-X32MY	HPC-CF32ZX	CFS-32M(HI)	CFS-32MA
64MB	RCF-X64MY	HPC-CF64Z	CFS-64M(HI)	CFS-64MA
128MB	RCF-X128MY	HPC-CF128Z	CFS-128M(HI)	CFS-128MA
256MB	RCF-X256MY	HPC-CF256Z	CFS-256M(HI)	CFS-256MA

(注)指定メーカー･型式以外のカードは動作保証外になります。

OEM 元は CF カード裏面に英語表記の会社名で記載されています。

【CF カードに関するトラブル】

CF カードの場合、スマートメディア･SD カードと異なり、完全な統一品ではありません。
これは主にカード内のカードコントロール LSI、Flash メモリに起因しています。
CF カードの大量購入する場合、必ず、動作確認の上、ご購入下さい。

■カードの脱着
必ず、電源 OFF 状態でカードの脱着を行って下さい
再生／録音中に行うと、カード内部が破損します。

■録音時、音飛びする場合
録音時の「音飛び」防止のために、下記の処理を行って下さい。
【フォーマット】Windows パソコンで「フォーマット」処理をします。

■デジカメで使用したカードの場合
そのままでは使用できません。
【フォーマット】Windows パソコンで「フォーマット」処理をします。

24. 設置･収納

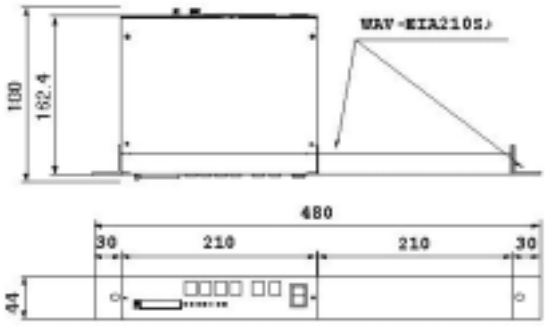
スタンドアロン(据置)の場合はそのまま設置できます。
EIA ラックに収納する場合、盤などに固定する場合は補助金具等を利用して収納または固定して下さい。

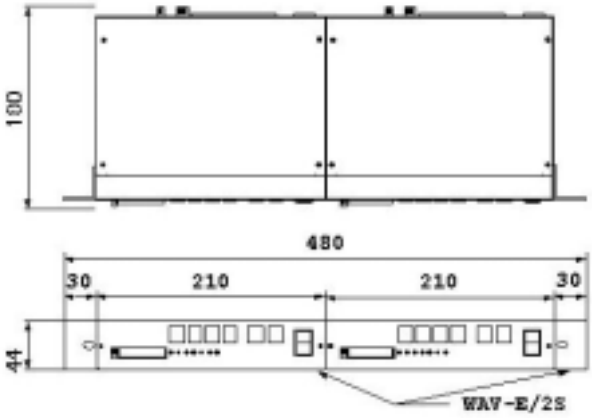
使用環境	使用時：-5℃～55℃　35%～80%RH 保存時：-10℃～70℃（但し結露なき事） 水、湿気、ほこり、油煙などの多い場所に設置しないで下さい
耐振動	WRX7200/7700 は FA 仕様ではありません。 振動の多い環境に設置する場合、振動対策を行って下さい。
耐ノイズ	WRX7200/7700 は FA 仕様ではありません。 ノイズが多い環境の場合、シールドを含むノイズ対策を行って下さい。

【EIA ラックに収納する場合】

■WRX7200　1 台の場合
補助金具　WAV-EIA210S　または相当品

■WRX7200　2 台の場合
補助金具　WAV-E/2S　または相当品

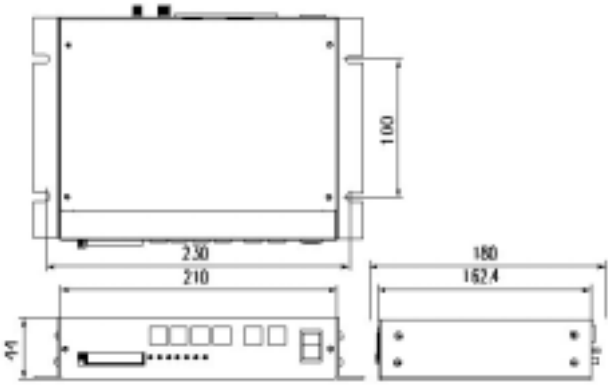




■WRX7700 1 台の場合
補助金具 WAV-L44 または相当品

【固定する場合】
■WRX7200
WAV-LKANAGU または相当品

振動の多い場所では、ゴムなど緩衝材を入れ、振動対策を行って下さい。

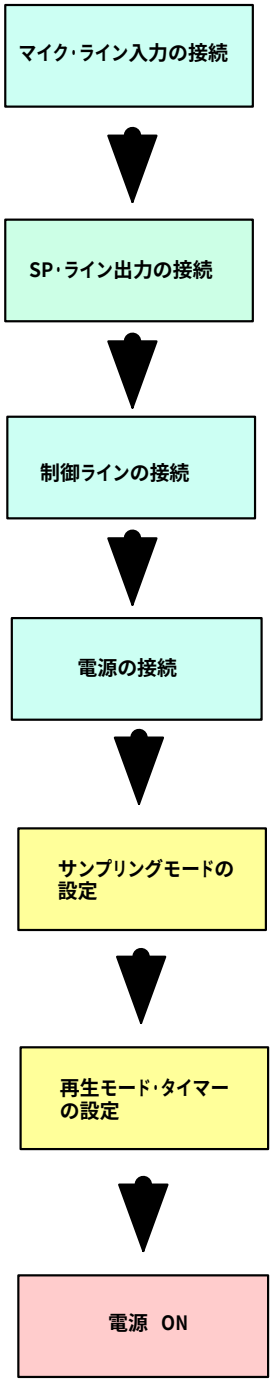


25. 接続･配線

【接続上のご注意】

配線	スピーカー配線	**5m 以上、または周囲にノイズ源がある場合はシールド線をご使用ください。 なお、屋外配線の場合、雷等で帯電し、破損する可能性が大きくなります。 複数スピーカー使用の場合や屋外配線の場合、ハイインピーダンスアンプ･スピーカーで行って下さい。**
	LINE OUT 配線	必ず、シールド線をご使用ください
	制御関係の配線	1m 以上、または周囲にノイズ源がある場合はシールド線をご使用ください
電源	低イズ	ノイズの少ない、安定した電源をご使用下さい
	雷サージ	AC100V 電源と本機の電源間に雷サージ対策コネクタ等で対策を行って下さい。

	DC 電源	WRX7700 で DC 電源を使用する場合 1.AC100V 電源は使用できません。(配線しないで下さい) 2. DC 電源には＋－の極性がありますのご注意下さい。 3. 電圧変動が激しい電源や、ノイズ･サージを多く含む電源は使用しないで下さい。
ノイズ対策		**本機は＜FA 仕様＞ではありません。** **原則としてノイズ環境下ではご使用できません。** **ノイズがある場合、誤動作を生じる場合があります。** (ノイズ対策を行う場合) ･本機を金属ケースまたはシールド板等でケーシングします。 ･スピーカー･ライン出力ライン (注)ノイズが乗り易い ･MIC/LINE 入力ライン･制御ライン･電源ライン

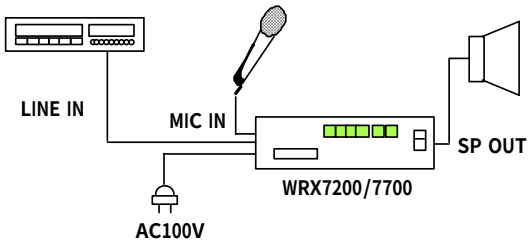


本書記載の「各部の名称･機能」、設定欄等を参照し、接続して下さい。

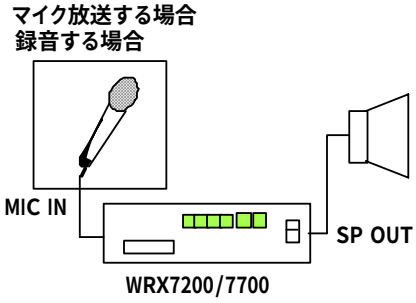
本書記載の「各部の名称･機能」を参照し、接続して下さい。

No.	設定項目	内容
1	音声入力ラインの接続	MIC IN にマイクや LINE IN に MD デッキなどを接続します。
2	音声出力ラインの接続	ライン出力の PIN ジャックと外部アンプ･通信機器の LINE IN を市販の PIN ジャックケーブル等で接続します。必要に応じて、定格 0.5W スピーカーを接続します。
3	制御ラインの接続	PLAY/REC 、 STOP 、 SW1-8 BUSY COM などを接続します。
4	電源の接続	AC100V 電源に接続します。 WRX7700 の場合、DC+24V(DC+12V)電源と接続できます。この場合、AC100V 電源とは接続しないで下さい。
5	サンプリングモードの設定	MODE1 スイッチで、サンプリングモードを設定します。 (出荷時) 44.1KHz 16Bit Mono
6	再生モード･タイマーの設定	MODE1 スイッチで、再生モード･タイマー時間をセットします。 (出荷時) 通常再生モード タイマー0 秒
7	Flash カード「コンパクトフラシュ」のセット	コンパクトフラシュはメーカー･型式指定
8	電源 ON	POWER(LED1) , CARD(LED2) が点灯

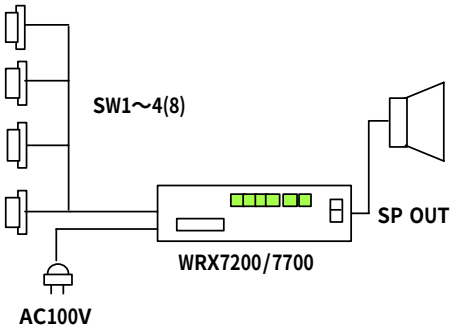
【録音操作の場合】



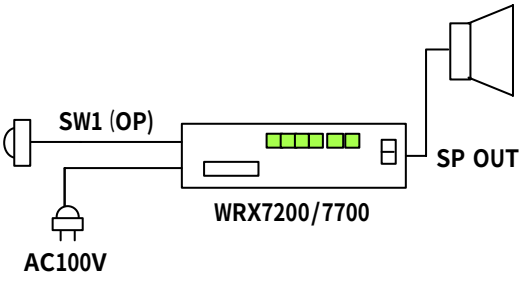
【店頭 CM/POP の場合】
再生モード：通常再生モード（複数 CH 対応）
インターバルタイマー：0/5/10/15 分



【外部押しボタン操作の場合】
再生モード：通常再生モード（複数 CH 対応）
または後入力切替再生モード
または優先順位再生モード

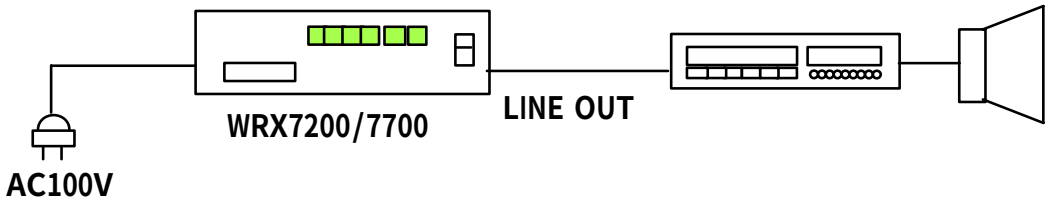


【人体検知センサー起動の場合】
再生モード：通常再生モード
または優先順位再生モード
または順番再生モード

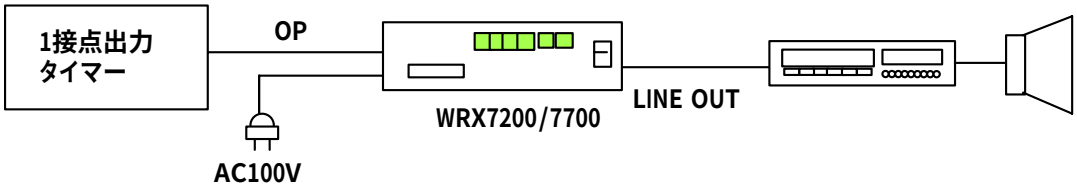


(テクニック)
通常再生モードの場合
録音データの後に無音時間を入れて録音します。
優先順位再生モードの場合
CH2 に BGM、CH1 にナレーション
順番再生モードの場合 (OP 端子接続)
CH1-3 にナレーション、CH4 を無音 10-30 秒録音

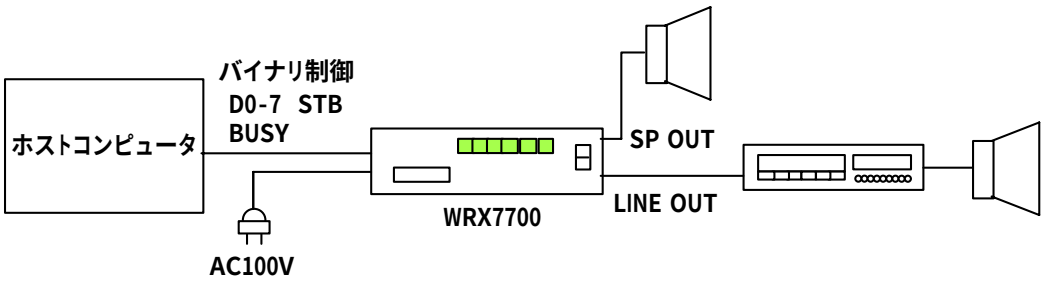
【拡声アンプと接続する場合】
再生モード：通常再生モード（複数 CH 対応）
または後入力切替再生モード
または優先順位再生モード



【1 接点出力タイマーと接続する場合】
接続端子：OP/COM
再生モード：順番再生モード



【255CHーバイナリ制御再生の場合】
再生モード:バイナリ制御モード



26. 操作・調整

Flash カード「コンパクトフラシュ」の脱着、操作・調整は電源 OFF 状態で行って下さい。

【操作】

録音	新規カード録音の場合	参照 操作-新規カード録音の場合
	追加・再録音の場合	参照 操作-追加録音・再録音の場合
再生	既録音したカードの場合	参照 操作―再生
マイク放送の場合	既録音したカードの場合	参照 操作―マイク放送

【調整】

録音・マイク放送	マイク入力	参照 マイク・ライン入力
録音	ライン入力	参照 マイク・ライン入力
再生	スピーカー出力	参照 スピーカー・ライン出力
再生	ライン出力	参照 スピーカー・ライン出力

27. 操作-録音の準備

録音前に、下記事項を確認してから、録音して下さい。

■Flash カード「コンパクトフラシュ」の用意

カード容量	録音時間を参考にして、カード容量に余裕を持ってカードをご用意下さい。
フォーマット	新規購入の場合、そのままでご使用できます。(DOS フォーマット)
録音時、音飛びする場合	そのままでは使用できません。 Windows パソコン上でカードアダプタを使用して、コンパクトフラシュをフォーマットしてからご使用下さい。(DOS フォーマット)
デジカメで使用したカードの場合	そのままでは使用できません。 Windows パソコン上でカードアダプタを使用して、コンパクトフラシュをフォーマットしてからご使用下さい。(DOS フォーマット)

■サンプリングモードの設定と録音時間

【サンプリングモードの設定】　MODE1　No.6-8 で設定

1～6	7	8		サンプリングモード	内容
			1	**44.1KHz 16Bit mono**	高音質　CD 同等サンプリング
	●		2	**22.05KHz 16Bit mono**	中音質
		●	3	44.1KHz 8Bit mono	中音質　**WAV シリーズ互換**
	●	●	4	22.05KHz 8Bit mono	中音質　**WAV シリーズ互換**

●－＞ON

【録音時間 】

No.	サンプリングモード	録音時間　max.			
		32MB	64MB	128MB	256MB
1	44.1KHz 16Bit Mono	5.6 分	11.2 分	22.4 分	44.8 分
2	22.05KHz 16Bit Mono	11.2 分	22.4 分	44.8 分	89.6 分
3	44.1KHz 8Bit Mono	11.2 分	22.4 分	44.8 分	179.2 分
4	22.05KHz 8Bit Mono	22.4 分	44.8 分	89.6 分	358.4 分

■プロテクトの解除

下記のプロテクトスイッチを解除状態 (OFF) にして下さい。

名称	SW	Bit-No.	設定項目	設定内容
全プロテクトスイッチ	MODE1	6	録音･オールクリア禁止	録音、オールクリアが禁止できます。
個別チャンネルプロテクトスイッチ	MODE2	1-4	個別 CH 録音禁止	1-4CH まで、個別に録音禁止設定ができます

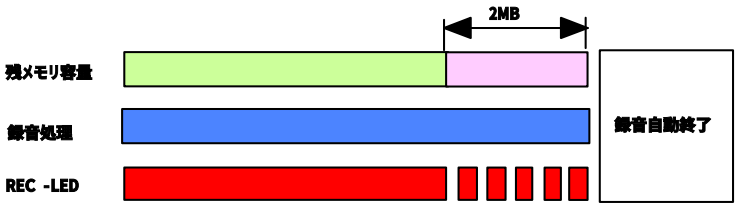
■登録エディタ　VoiceNavi　Editor (VoiceMaker3) でカードデータ作成したカードへ録音する場合

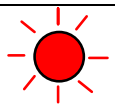
カード内の WAVE ファイル名を確認して下さい。
不明の場合、再生操作を行い、再生しないことを確認し、Windows パソコン上で Flash カード「コンパクトフラシュ」をフォーマットしてから録音して下さい。

WRX001.wav～004(008)	上書き録音できます。	
上記以外	上書き録音できません。	Widndows パソコン上でファイル名を WRX001.wav～004(008)にリネームした場合録音できます。

■録音自動終了

カード内の残メモリ容量　2MB 未満から REC　LED が点滅状態になり、メモリ終了と同時に録音処理を終了します。

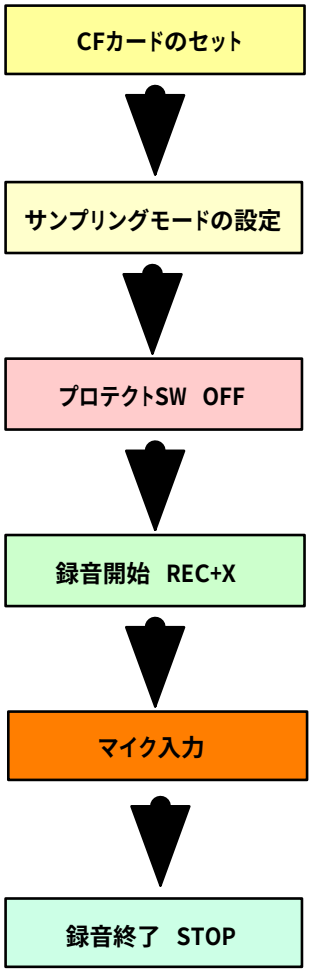


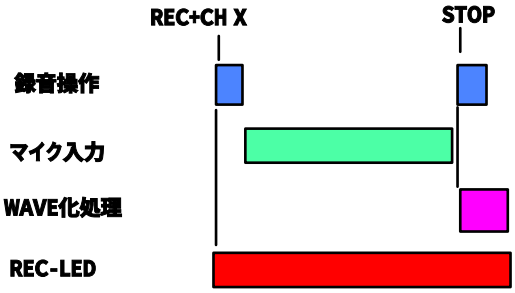
REC　LED
残メモリ容量　2MB 未満より点滅


サンプリングモード	録音時間 max.
	2MB
44.1KHz 16Bit Mono	20 秒前
22.05KHz 16Bit Mono	40 秒前
44.1KHz 8Bit Mono	40 秒前
22.05KHz 8Bit Mono	80 秒前

28. 操作-新規カード録音

録音時、モニターしないモードとモニターするモードが有ります。
新規購入の CF カードまたは Windows パソコン上でフォーマットした CF カードをご使用下さい。





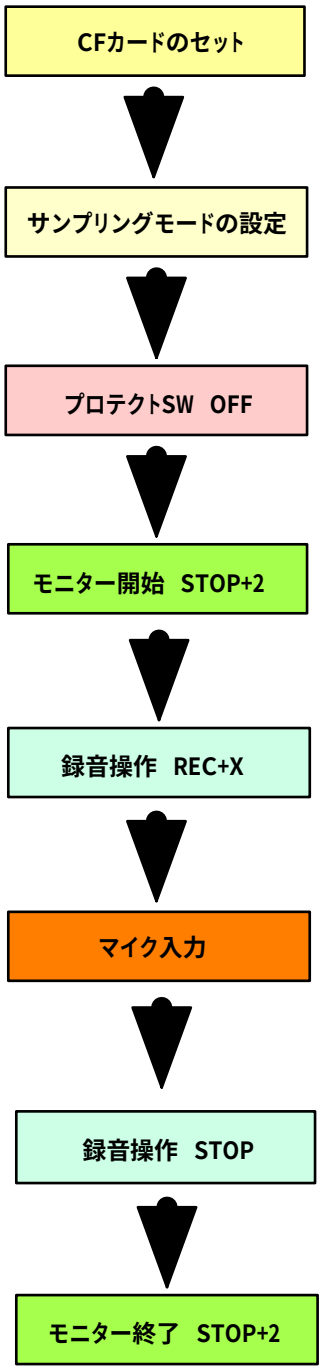
(ご注意)
録音終了後、WAVE ファイル化処理のため 1.5 秒間程度かかります。
この間、REC LED が点灯します。

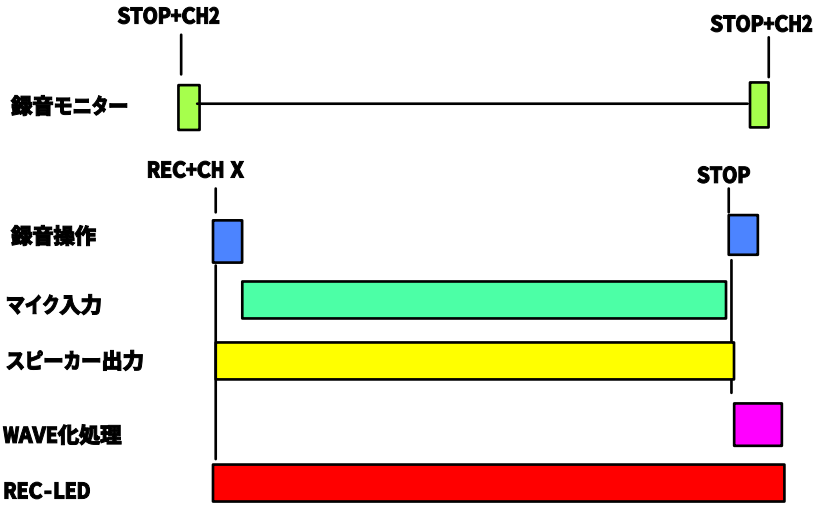
本処理中、カードの脱着した場合、CF カード内のメモリ等は破損し、修理･復旧できません。

【録音モニターしない場合】

プロテクト解除		全プロテクトの解除 MODE1-6 OFF 個別 CH プロテクトの解除 MODE2-1～4 OFF **登録エディタ VoiceNavi Editor(VoiceMaker3)で作成したカードデータで WRX001～004(008).wav 以外の WAVE ファイルが登録されている場合**
録音スタート	REC + X	録音スタート後、1-4(8)ボタンを OFF 状態にして下さい。 (プッシュロック式のため)
マイク入力 (LINE 入力)		
録音終了	STOP	STOP 後、WAVE ファイル化処理に 1.5 秒間かかります。 メモリカード内の空き容量が終了した場合は自動的に録音を終了します。

【録音モニターを使用する場合】





(ご注意)
録音終了後、WAVE ファイル化処理のため 1.5 秒間程度かかります。
この間、REC LED が点灯します。

録音モニター終了後、1-4(8)ボタンを OFF 状態にして下さい。(プッシュロック式)
ON 状態ですと、再生状態になります。

本処理中、カードの脱着した場合、CF カード内のメモリ等は破損し、修理・復旧できません。

【録音モニターを使用する場合】

プロテクト解除		全プロテクトの解除 MODE1-6 OFF 個別 CH プロテクトの解除 MODE2-1～4 OFF **登録エディタ VoiceNavi Editor(VoiceMaker3)で作成したカードデータで WRX001～004(008).wav 以外の WAVE ファイルが登録されている場合**
録音モニター開始	STOP + 2	2 秒以内に CH2 スイッチを OFF にして下さい。 (注)2 秒以上、2 が ON 状態の場合、CH2 を再生します。

録音スタート	REC ＋ X	録音スタート後、1-4(8)ボタンを OFF 状態にして下さい。 （プッシュロック式のため）
マイク入力 （LINE 入力）		**【ハウリングが生じた場合】** スピーカーを離して入力して下さい。
録音終了	STOP	STOP 後、WAVE ファイル化処理に 1.5 秒間かかります。 メモリカード内の空き容量が終了した場合は自動的に録音を終了します。
録音モニター終了	STOP ＋ 2	2 秒以内に CH2 スイッチを OFF にして下さい。 2 秒以上 ON 状態の場合、CH2 を再生します。

29. 操作-追加録音・再録音

新規カード録音と同様の操作で行います。残時間（残メモリ容量）に注意して録音します。

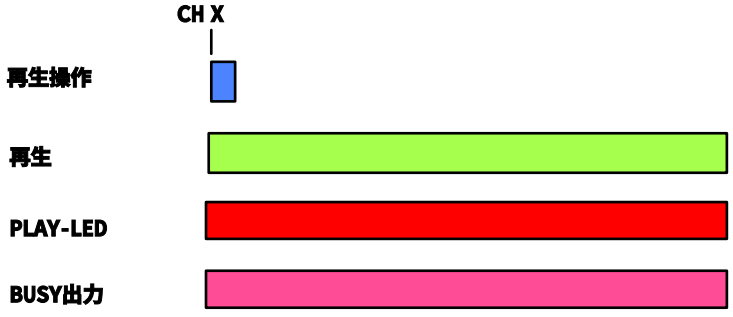
追加録音の場合	空きチャンネルに録音	カード内の空きメモリエリアに録音します。
再録音の場合	既録音済みチャンネルに録音	録音したチャンネルを上書きします。

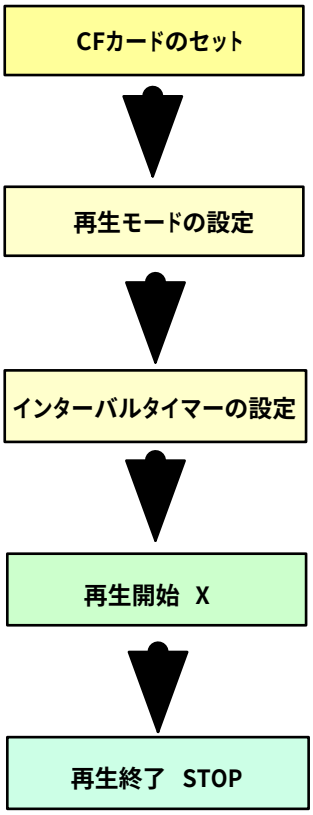
30. 操作―再生

WRX7200/7700 シリーズではフロントパネルの押しボタン操作による再生とリアパネルによる接点制御（WRX7700 の場合は 255CH-バイナリ制御）による再生制御ができます。

【個別チャンネル再生したい場合】

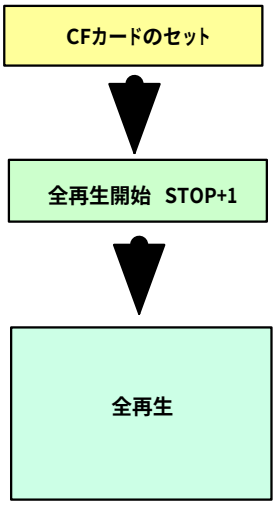
接点制御―通常再生モード、インターバルタイマー0 秒の場合
再生モード、インターバルタイマーにより再生制御内容は異なります。

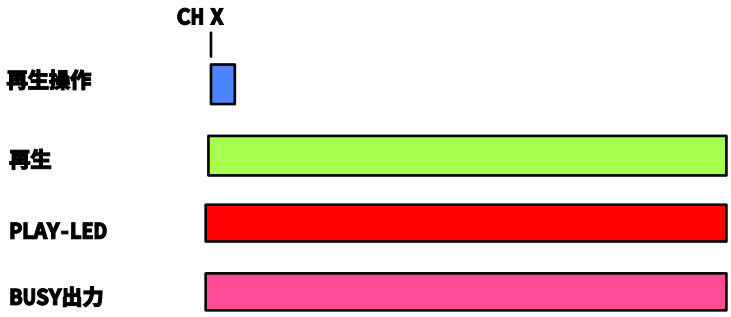




再生スタート	CH X	再生スタート後、1-4(8)ボタンを OFF 状態にして下さい。（プッシュロック式のため） ON 状態の場合、再生モードの制御内容によります。
再生終了		
途中再生終了	STOP	再生途中で終了したい場合は、STOP ボタン　ON

【全チャンネル再生したい場合】





再生スタート	STOP ＋ 1	再生スタート後、1-4(8)ボタンを OFF 状態にして下さい。(プッシュロック式のため) ON 状態の場合、再生モードの制御内容によります。
再生終了		
途中再生終了	STOP	再生途中で終了したい場合は、STOP ボタン ON

31. 操作―再生モードの説明

使用用途に合わせて、ご使用下さい

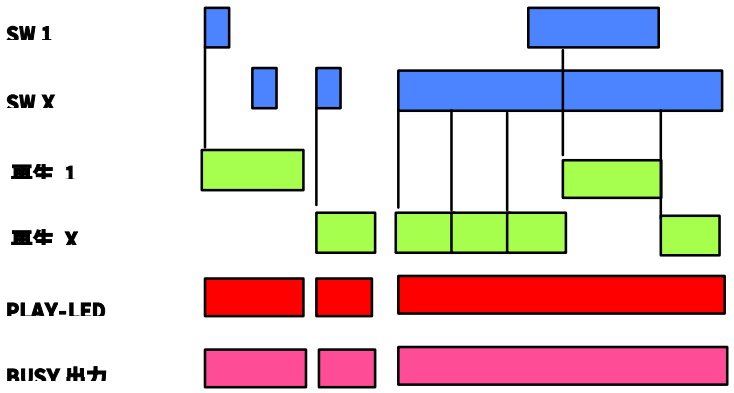
1	2	3	4～8	／	再生モード	備考
				1	通常再生モード	ほとんどの全用途で使用できます インターバルタイマーが設定できます
●				2	後入力切替再生モード	設備の操作説明･音響演出
	●			3	優先順位再生モード	優先度の高い CH に即切り替え再生 CH8＜･･････＜CH1
●	●			4	順番再生モード	1 点出力タイマー装置による定時放送 音響演出･作業マニュアル案内装置
		●		5	空き	
●		●		6	空き	
	●	●		7	空き	
●	●	●		8	バイナリ制御 (WRX7200 使用不可)	255CH 再生専用 (注)録音制御は不可

●－＞ON

■接点制御―通常再生モード　　(インターバルタイマー有効)

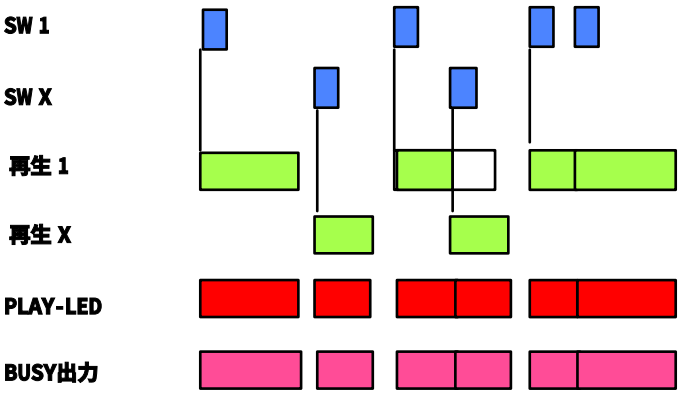
●ワンパルス入力時
① 再生は一回のみ再生で、再生中は他の入力は見ません。
② 再生終了後に次のSW入力からスキャンを行います。
③ ストップ信号入力により、即停止します。

●レベル入力時
① レベル入力の場合はリピート再生で、再生中は他の入力は見ません。
② 再生終了後に次のSW入力からスキャンを行います。
③ ストップ信号入力で即停止し、引き続き入力がある時は、ストップ解除後に最初から再生します。



■接点制御―後入力切替再生モード　　インターバルタイマー無効

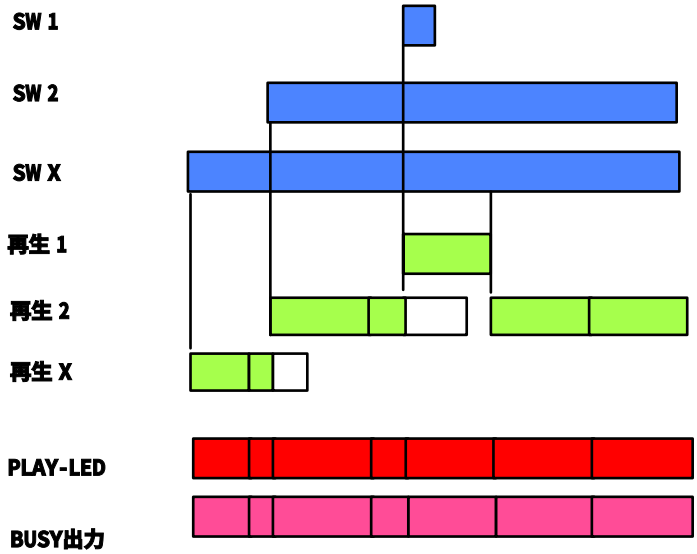
再生はワンショット入力のみの1回再生になります。
再生中は、当該SWを含む全てのSWを検出し、入力されると即座に入力されたSWのメッセージに切り替わります。
ストップ信号入力で即停止します。



■接点制御―優先順位再生モード　　インターバルタイマー無効

用途：BGM を優先順位の低い CH に割り付け、本スイッチ ON でエンドレス再生します。
優先順位の上位の端子への入力で、「割り込み再生」します。
有線放送や外部に BGM 装置がない場合、この機能で CM&BGM マシンになります。
BGM は野鳥の鳴き声や川のせせらぎなどの環境音を推奨。

再生はワンショット入力時は1回のみの再生になり、レベル入力時はリピート再生になります。
再生中は、当該SWより優先度の高いSWのみ検出し、入力されると即座に入力されたSWのメッセージに切り替わります。また、リピート再生時では、優先度の高いSWのメッセージ終了後に、再度当該SWのメッセージが、最初から再生されます。
ストップ信号入力で即停止し、リピート再生時ではストップ解除後に、再度当該SWのメッセージが最初から再生されます。

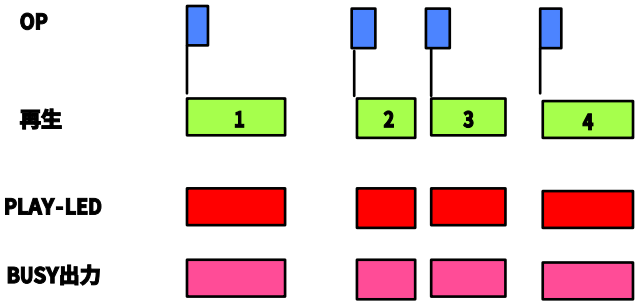


■接点制御―順番再生モード　インターバルタイマー無効

順番再生で再生できるチャンネル数は 16Chmax です

ＯＰ信号の入力により、最初から順番に再生し、最後のチャンネルまで再生すると、再び最初から再生します。再生中は他の入力は見ません。

ストップ信号入力で即停止し、次のＯＰ信号の入力より最初のチャンネルから再生します。



■バイナリ制御―標準バイナリモード (FIFO バッファ無)　再生専用　(注)WRX7200 では使用できません。

再生チャンネルは 1CH (FEH) から 255ＣＨ (00H) までとします。

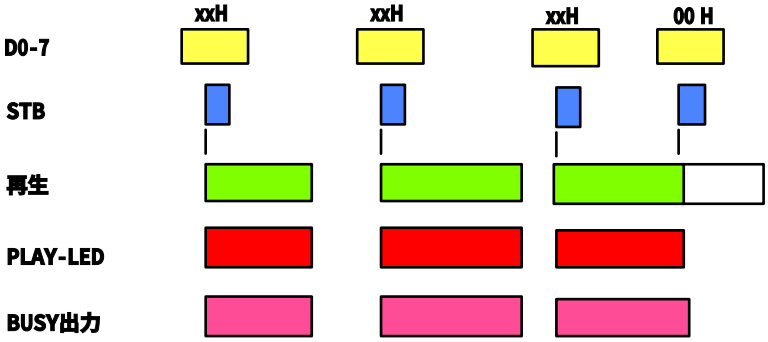
受信バッファはありません。

再生中時は受信しません (受信しても無効) 。

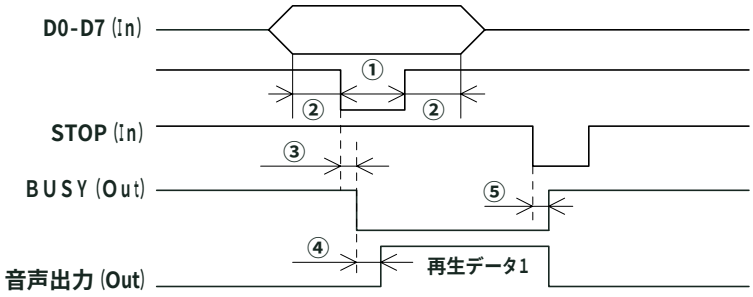
但し、STOP (0CH：FFH) のみは有効とし、再生中でも強制停止します。

外部 STOP 信号入力にても即停止します。

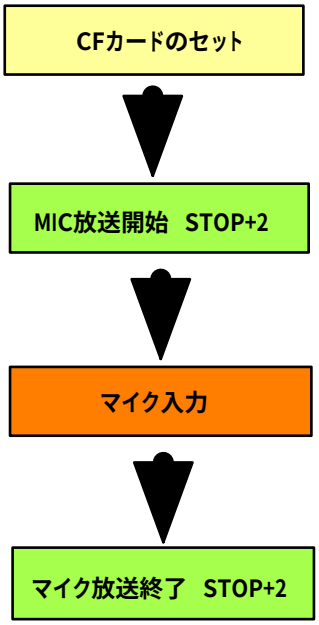
受信及び再生出力のタイミングは以下の様になります。



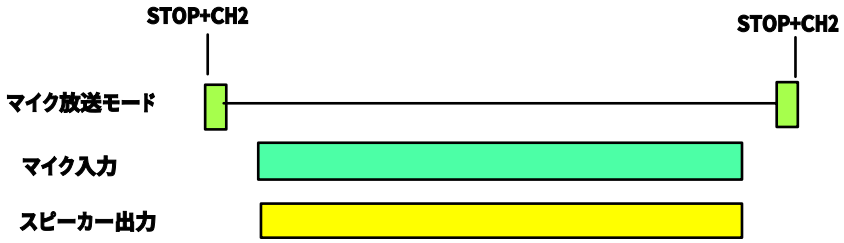
No.	信号名称	時間
①	OP 入力時間	50ms min.
②	データセットアップ時間	50ms min.
③	BUSY 出力タイミング	50ms max.
④	音声出力タイミング	130ms max.
⑤	音声終了タイミング	50ms max.



32. 操作―マイク放送モード(5W アンプ利用)



本体の 5W アンプを利用して、Flash カードによる再生以外に、ダイレクトのマイク放送ができます。

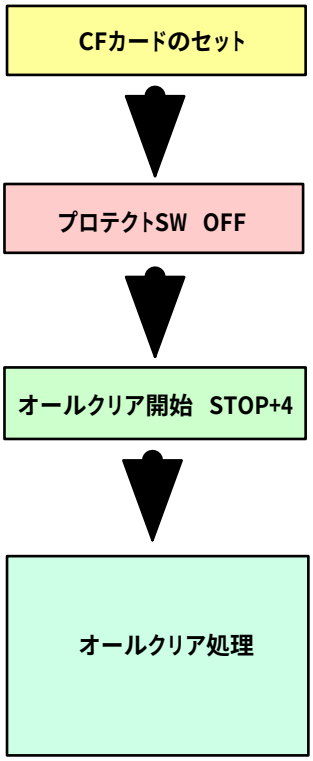


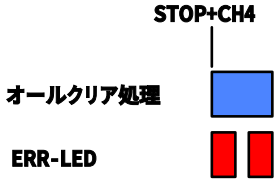
本処理中、カードを脱着した場合、CF カード内のメモリ等は破損し、修理･復旧できません。

録音モニター開始	STOP ＋ 2	2 秒以内に CH2 スイッチを OFF にして下さい。 (注)2 秒以上、2 が ON 状態の場合、CH2 を再生します。
マイク入力 **(LINE 入力)**		**【マイク入力のレベルオーバーについて】** マイク･入力回路には AGC 回路がありませんので、レベルオーバー(100%)しないようにマイク入力して下さい。 フロントパネルの入力レベル LED 表示は入力レベルが 70%超えた場合、点灯します。 **【ハウリングが生じた場合】** スピーカーを離して入力して下さい。
録音モニター終了	STOP ＋ 2	2 秒以内に CH2 スイッチを OFF にして下さい。 2 秒以上 ON 状態の場合、CH2 を再生します。

33. オールクリア処理 (管理データファイル内容の消去)

本処理は、カード内の管理データファイルの管理データ (押しボタン･接点端子と該当する WAVE ファイルの関係) を消去します。





(注)
WAVE ファイル自体を削除するのではなく、その WAVE ファイルを管理する管理データファイルの内容を消去し、再生できない状態になっています。

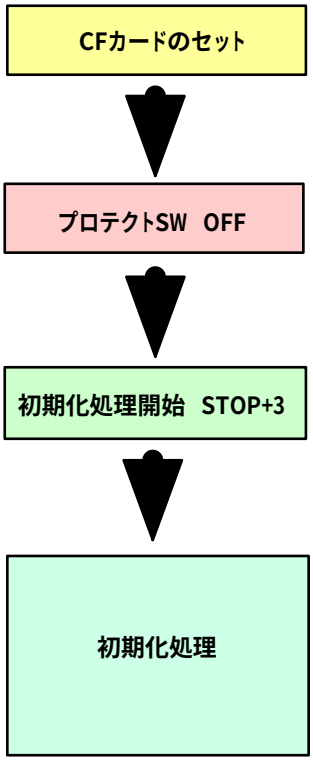
(注)
途中で電源 OFF やカードの脱着を行いますとカードは完全に破損し、修復ができません。

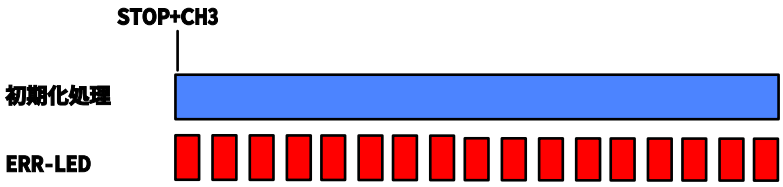
プロテクト解除		全プロテクトの解除 MODE1-6 OFF 個別 CH プロテクトの解除 MODE2-1～4 OFF
オールクリア処理スタート	STOP ＋ 4	2 秒以内に CH4 スイッチを OFF にして下さい。 2 秒以上、CH4 が ON 状態の場合、CH4 を再生します。
オールクリア処理中	終了後 5 秒間 ERR-LED 点滅	

34. 初期化処理(不良セクター対策)

本処理は、処理時間が掛かります。Windows パソコン上で「フォーマット」することを推奨します。
WRX シリーズ上の初期化処理と比べ、短時間でできます。
本処理の内容は、Windows パソコン上で「フォーマット」ではなく、スキャンディスク＋データ削除と同等の内容です。
オールクリア処理と異なり、カードデータファイル (.wpj) と WAVE ファイル (.wav) のデータも削除します。

初期化処理の内容	不良セクター対策	Flash カード「コンパクトフラシュ」内に不良セクターが存在する場合があります。不良セクターがあると録音時に、「音飛び」や「録音途中終了」などの現象が発生する場合があります。本処理を行うことにより、不良セクターを回避して録音ができます。
	データ全削除	上記の不良セクターの検出･回避以外に、本操作でカード内の全データを削除します。





初期化処理は時間がかかります。
32MB 約 4 分 64MB 約 12 分
128MB 約 24 分 256MB 約 48 分

(Windows パソコン上でのフォーマット推奨)
処理時間が短い、Windows パソコン上のフォーマットを推奨します。

(注)
本処理中、カードの脱着した場合、CF カード内のメモリ等は破損し、修理･復旧できません。

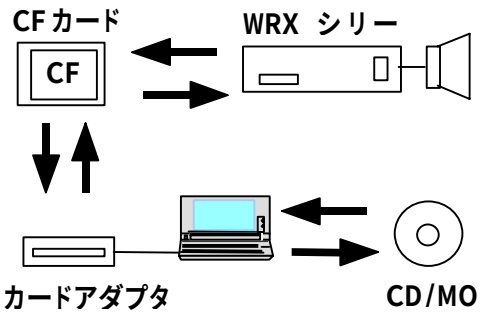
プロテクト解除		全プロテクトの解除 MODE1-6 OFF 個別 CH プロテクトの解除 MODE2-1～4 OFF
初期化処理スタート	STOP ＋ 3	2 秒以内に CH3 スイッチを OFF にして下さい。 2 秒以上、CH3 が ON 状態の場合、CH3 を再生します。 本処理中、カードの脱着した場合、CF カード内のメモリ等は破損し、修理･復旧できません。 **(注) 初期化処理した場合、全データは消去されます。**
初期化処理中	初期化中 ERR-LED 点滅 初期化終了 ERR-LED	**初期化処理は時間がかかります。** **32MB 約 4 分 64MB 約 12 分** **128MB 約 24 分 256MB 約 48 分** 途中で電源 OFF やカードの脱着を行いますとカードは完全に破損し、修復ができません。

35. データのバックアップとコピー･再利用･編集加工

録音したデータのバックアップは Windows パソコンとカードアダプタでできます。

【使用用途】

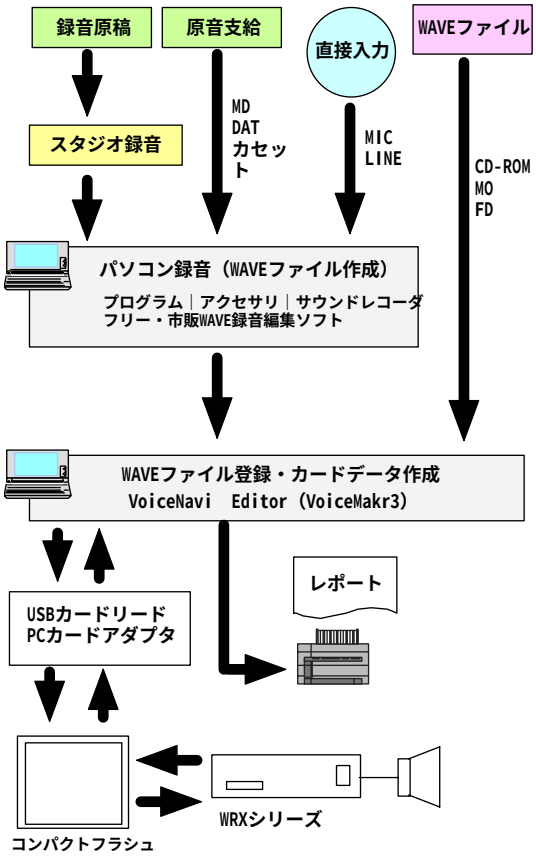
データのバックアップとコピー	Wndows パソコン上または CD-R などにバックアップできます。 バックアップしたデータを別のカードにコピーして使用できます。
データの再利用	録音した WAVE ファイルは、登録エディタ VoiceNavi Editor (VoiceMaker3) を使用して、個別に再利用して、別のカードデータを作成できます。
データの編集加工	WAVE ファイルですので、WindowsOS 付属の録音ソフト「サウンドレコーダ」やフリー･市販の録音編集ソフトで編集加工して、利用できます。 この場合、Flash カード「コンパクトフラシュ」内の WAVE ファイルをダイレクトの編集加工もできますが、バックアップ･編集加工後、再度、カードにコピーした方がデータ保持上安全です。



WRX シリーズでダイレクト録音したデータは Flash カード「コンパクトフラシュ」に WAVE ファイル形式で記録されますので、カードアダプタを経由して、Windows パソコン上のハードディスクにバックアップできます。
WAVE ファイルですので、Windows パソコン上で試聴できます。

36. 登録エディタ VoiceNavi Editor (VoiceMaker3) について

本ソフトは Widows パソコン上で、試聴しながら WAVE ファイル登録し、アドレス(接点端子)登録してカードデータファイルを作成します。その際、組立再生、リピート再生回数などのプログラム登録もできます。
WAVE ファイル/カード作成情報の表示/印刷もできます。
WRX シリーズで録音した Flash カードのデータを読込み、Widnwos パソコン上で試聴、アドレス(接点端子)変更、組立再生・リピート再生回数の登録後、カード作成などもできます。
適用 OS：Windows98SE/Me/2000/XP
CD-ROM 版
無償ダウンロード版 http://www.voicenavi.co.jp/



WRX シリーズで録音した場合、上記の WAVE ファイル以外に、接点端子・アドレスと WAVE ファイル(.wav)とを管理するカードデータファイルを自動作成します。
本カードデータファイルは登録エディタ VoiceNavi Editor(VoiceMaker3)上で作成したカードデータファイルと作成情報・プログラム再生登録情報を除き、同一形式です。
同一形式ですので、登録エディタ VoiceNavi Editor(VoiceMaker3)上で WAVE ファイルの登録、アドレス登録、組立再生やリピート回数設定などのプログラム再生登録、試聴シュミレーション、個々の WAVE ファイル情報 (時間・サンプリング) や作成情報をプリントアウトできます。

登録エディタ VoiceNavi Editor(VoiceMaker3)の取扱説明書をご参照下さい。

(注)
WRX シリーズ用のカードデータ作成の場合、
設定画面―B mode(WRX series 用)に設定して WAVE ファイルを登録して下さい。

37. 既存 WAVE ファイルを追加、プログラム登録 (組立再生、リピート回数登録) したい場合

登録エディタ VoiceNavi Editor(VoiceMaker3) (モード B 使用) 上でカードデータファイル defult.wpj と WAVE ファイル (WRX001.wav～)を読み込み、アドレス(接点端子)変更や組立再生･リピート回数設定、既存 WAVE ファイルの追加登録ができます。

(注)プログラム登録した場合、WRX7200/7700 上で再録音できません。

[WRX シリーズで録音したカードデータ内容]

■カードデータ作成画面

カードファイル名　　default.wpj

■WAVE ファイル登録画面

No.	
01	WRX001.wav
02	WRX002.wav
03	WRX003.wav
04	WRX004.wav
05	WRX005.wav
06	WRX006.wav
07	WRX007.wav
08	WRX008.wav

■アドレス･プログラム再生登録画面

No.	SP	R	1	2	･･･	8
01	1	1	WRX001.wav			
02	1	1	WRX002.wav			
03	1	1	WRX003.wav			
04	1	1	WRX004.wav			
05	1	1	WRX005.wav			
06	1	1	WRX006.wav			
07	1	1	WRX007.wav			
08	1	1	WRX008.wav			

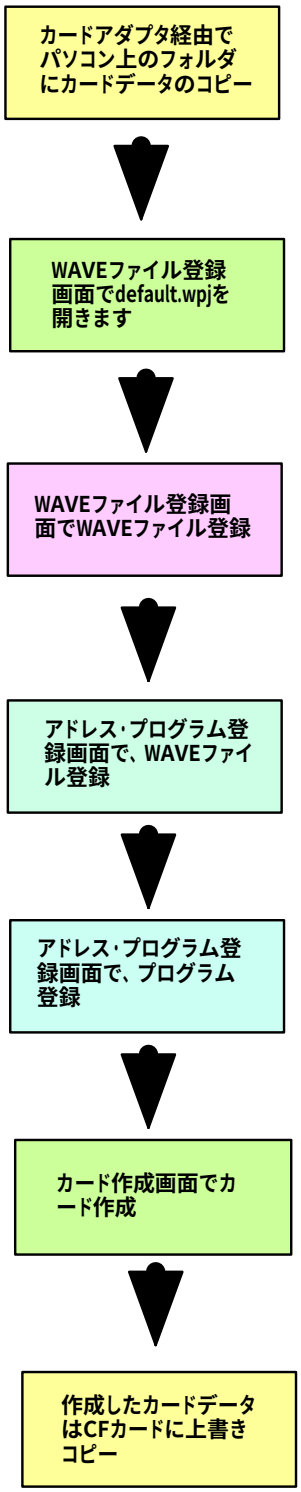
[WRX シリーズで録音したカードデータを読み込み、プログラム登録をしたい場合]

CF カードのデータをカードアダプタ経由でパソコン内のフォルダにコピーします。

WAVE ファイル登録画面でそのフォルダ内のカードデータファイル　default.wpj を指定し、開きます。

【既存 WAVE ファイルを追加したい場合】
WAVE ファイル登録画面で使用する WAVE ファイルを登録します。(試聴できます)

アドレス･プログラム登録画面で、WAVE ファイルをアドレス (押しボタン･接点端子) に登録します。(試聴できます)



【WRX7200/7700 上で再録音したい場合】
WRX シリーズ上で再録音したい場合は、WAVE ファイル名を WRX001.wav～WRX008.wav をご使用下さい。
他のファイル名の WAVE ファイルを使用した場合、WRX700B 上では再録音できません。

アドレス･プログラム登録画面で、プログラム登録できます。

【プログラム再生登録】

組立再生登録	8wav ファイル max.
リピート回数登録	5 回 max. 上記組立再生登録全体×リピート回数

(注)
プログラム登録した場合、WRX シリーズ上で再録音できません。

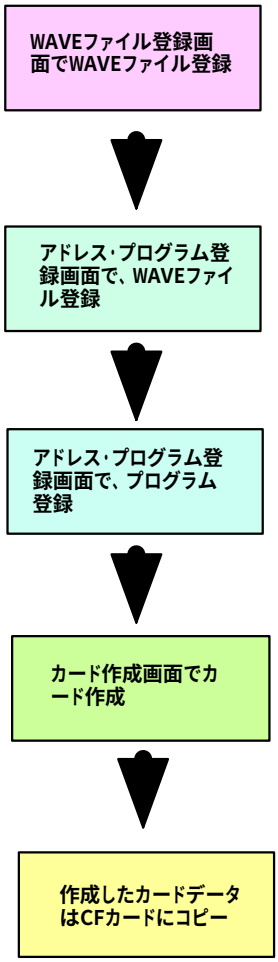
カード作成画面で、所定事項を入力し、カードデータ作成ボタンでカードデータを作成します。

CF カードに上書きコピーする場合、カードデータファイル名は、defaut.wpj のまま、カードデータ作成します。

新規のカードデータファイル名でカード作成した場合、CF カードをフォーマットしてからコピーして下さい。（または上書きコピー後、defaut.wpj を削除して下さい）

38. 既存の WAVE ファイルを使用してカードデータを作成したい場合

WRXシリーズでのダイレクト録音以外に、登録エディタVoiceNavi Editor(VoiceMaker3)上で既存WAVEファイルを使用して WRX シリーズ用のカードデータ作成ができます。
(注)プログラム登録した場合、WRX7200/7700 上で再録音できません。



設定画面（モード）で B mode(WRX series)を設定。
設定画面（フォルダ）で WAVE ファイル収納先のフォルダを設定。
WAVE ファイル登録画面で使用する WAVE ファイルを登録します。(試聴できます)

アドレス･プログラム登録画面で、WAVE ファイルをアドレス（押しボタン･接点端子）に登録します。

【WRX7200/7700 上で再録音したい場合】
WRX シリーズ上で再録音したい場合は、WAVE ファイル名を WRX001.wav～WRX008.wav をご使用下さい。
他のファイル名の WAVE ファイルを使用した場合、WRX700B 上では再録音できません。

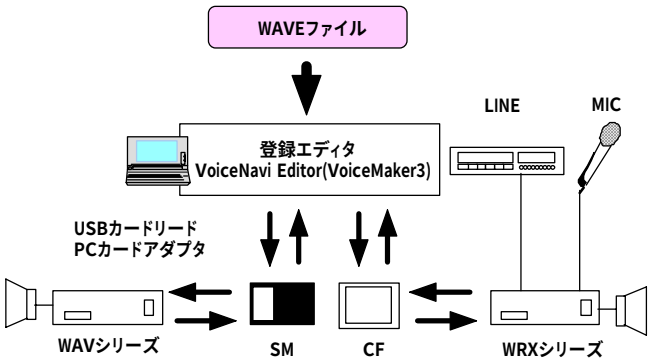
アドレス･プログラム登録画面で、プログラム登録できます。

【プログラム再生登録】

組立再生登録	8wav ファイル max.
リピート回数登録	5 回 max. 上記組立再生登録全体×リピート回数

カード作成画面で、所定事項を入力し、カードデータ作成ボタンでカードデータを作成します。

39. WAVシリーズとのデータ互換性について



なお、カードへのコピーはカードアダプタをご使用ください。
WRX シリーズと WAV シリーズで採用しているカードデータファイル形式（.wpj ファイル）は同一です。
サンプリング 44.1/22.05KHz 8Bit データの場合、互換性を有し、双方で再生できます。
WRX シリーズを WAV シリーズの録音ツールにすることができます。
なお、Flash カードはタイプが違いますのでカードアダプタ経由で対応願います。

Bit	サンプリング周波数	WAV シリーズとの互換性
8Bit データ	44.1KHz/22.05KHz	○
	48KHz/32KHz/16KHz 11.025KHz/8KHz	×
16Bit データ	44.1KHz/22.05KHz	×

■ 標準仕様･外形寸法図

【WRX7200】

定格使用電圧	AC100V 50/60Hz
消費電力	待機時 9Wmax. 最大時 24Wmax.
寸法･重量	210W X 180D X 44H mm 約 1.6Kg
仕上･塗装	アイボリー 焼付塗装 スチール 1.6mm 厚
使用環境	使用時：-5℃～55℃ 35%～80%RH 保存時：-10℃～70℃ (但し結露なき事)
録音･再生方式	PCM 44.1/22.05KHz 16/8Bit mono (混在サンプリングモード録音可) データ保存形式：録音終了時、WAVE ファイル形式で記録 カードデータ形式：登録エディタ VoiceNavi Editor (VoiceMaker3) 対応
再生帯域	300～10KHz
音声入力	MIC 入力 (不平衡) 入力感度：-65dBm (調整可) ミニプラグ リアパネル LINE 入力 (不平衡) 入力感度：-15dBm (調整可) ミニプラグ リアパネル
音声出力	SP 出力 5Wmax.8Ω M3 端子台 リアパネル LINE 出力 600Ω 0dBm RCA ピン リアパネル
音量調整	SP 出力 シャフトツマミ VR リアパネル LINE 出力 ボード上半固定 VR3 -10dB～8dB
適用カード	Flash カード「コンパクトフラシュ」 32/64/128MB 1 枚 max.
録音 CH 数 登録 CH 数	ダイレクト録音の場合 4CHmax 登録エディタの場合 4CHmax. プログラム再生登録対応
録音時間 登録時間	カード容量とサンプリングによる (サンプリングはリアパネル DIPSW で設定)

カード容量	22.05KHz		44.1KHz	
	16Bit	8Bit	16Bit	8Bit
32MB	11.2 分	22.4 分	5.6 分	11.2 分
64MB	22.4 分	44.8 分	11.2 分	22.4 分
128MB	44.8 分	89.6 分	22.4 分	44.8 分
256MB	89.6 分	179.2 分	44.8 分	89.6 分

(注)混在サンプリングモード対応

再生時間	ダイレクト録音の場合 録音した時間 登録エディタの場合 登録した時間またはプログラム内容による
制 御	●押しボタン 接点制御：4CH 録音/再生 1～4 プッシュロック STOP/REC-プッシュ ●端子台 接点制御：4CH 再生 IN：/SW1～SW4 /STOP /OP 無電圧メーク接点または NPN オープンコレクタ OUT：/BUSY オープンコレクタ出力 (DC+50V 500mA)
再生モード	接点制御：通常再生/後入力切替/優先順位/順番再生 リアパネル DIPSW で設定
インターバルタイマー	0/5/10/15 分 (通常再生モード時有効) リアパネル DIPSW で設定
その他	●5W マイク放送モード マイク放送モードに設定しますと、5W マイク放送ができます。 ●登録エディタ VoiceNavi Editor (VoiceMaker3) 対応 既存 WAVE ファイルを登録し、カード作成できます。 組立再生、リピート回数設定などのプログラム登録ができます。 組立再生 1 接点-8wave max. リピート回数 1 接点-5 回 max. ●自動 WAVE ファイル形式保存 録音したデータは WAVE ファイル形式でカード内に保存します ●個別 CH 録音プロテクトスイッチ 1-4CH DIPSW ●WAV シリーズ互換性 44.1/22.05KHz8Bit 録音した場合、WAV シリーズ上で互換性を有します。
オプション	VoiceNavi Editor(VoiceMaker3) CD 版･無償ダウンロード版 VoiceNavi Editor(VoiceMaker3)パック (カードアダプタ付) Flash カード「コンパクトフラシュ」 32/64/128MB(メーカー･型式指定有) WAV-EIA210S 補助金具 EIA ラック収納 1 台用 WAV-E/2S 補助金具 EIA ラック収納 2 台用 WAV-LKANAGU L 金具

【WRX7700】

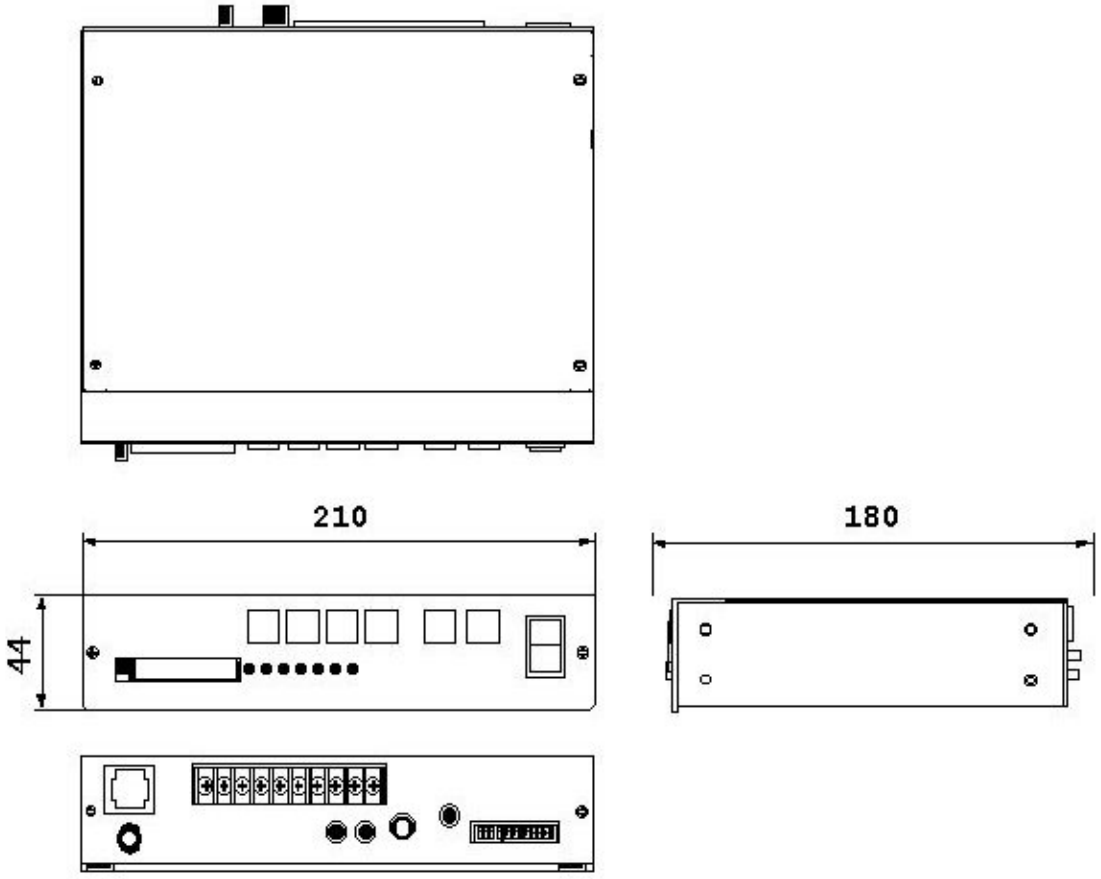
定格使用電圧	AC100V 50/60Hz または DC+24V±5%
消費電力	AC100V 時 待機時 10Wmax 最大時 25Wmax. DC+24V 時 待機時 150mAmax 最大時 500mAmax
寸法･重量	420W X 180D X 44H mm 約 2.6Kg EIA ラック収納対応
仕上･塗装	アイボリー 焼付塗装 スチール 1.6mm 厚
使用環境	使用時：-5℃～55℃ 35%～80%RH 保存時：-10℃～70℃（但し結露なき事）
録音･再生方式	PCM 44.1/22.05KHz 16/8Bit mono （混在サンプリングモード録音可） データ保存形式：録音終了時、WAVE ファイル形式で記録 カードデータ形式：登録エディタ VoiceNavi Editor（VoiceMaker3）対応
再生帯域	300～10KHz
音声入力	MIC 入力（不平衡） 入力感度：-65dBm（調整可） ミニプラグ リアパネル LINE 入力（不平衡） 入力感度：-15dBm（調整可） ミニプラグ リアパネル
音声出力	SP 出力 5Wmax.8Ω M3 端子台 リアパネル LINE 出力 600Ω 0dBm RCA ピン リアパネル
音量調整	SP 出力 シャフトツマミ VR リアパネル LINE 出力 （本体内ボード上半固定 VR3 -10dB～8dB）
適用カード	Flash カード「コンパクトフラシュ」 32/64/128/256MB 1 枚 max.
録音 CH 数 登録 CH 数	ダイレクト録音の場合 接点制御 8CHmax 登録エディタの場合 接点制御 8CHmax. プログラム再生登録対応 バイナリ制御 255CHmax. プログラム再生登録対応
録音時間 登録時間	カード容量とサンプリングによる (サンプリングはリアパネル DIPSW で設定)

カード容量	22.05KHz		44.1KHz	
	16Bit	8Bit	16Bit	8Bit
32MB	11.2 分	22.4 分	5.6 分	11.2 分
64MB	22.4 分	44.8 分	11.2 分	22.4 分
128MB	44.8 分	89.6 分	22.4 分	44.8 分
256MB	89.6 分	179.2 分	44.8 分	89.6 分

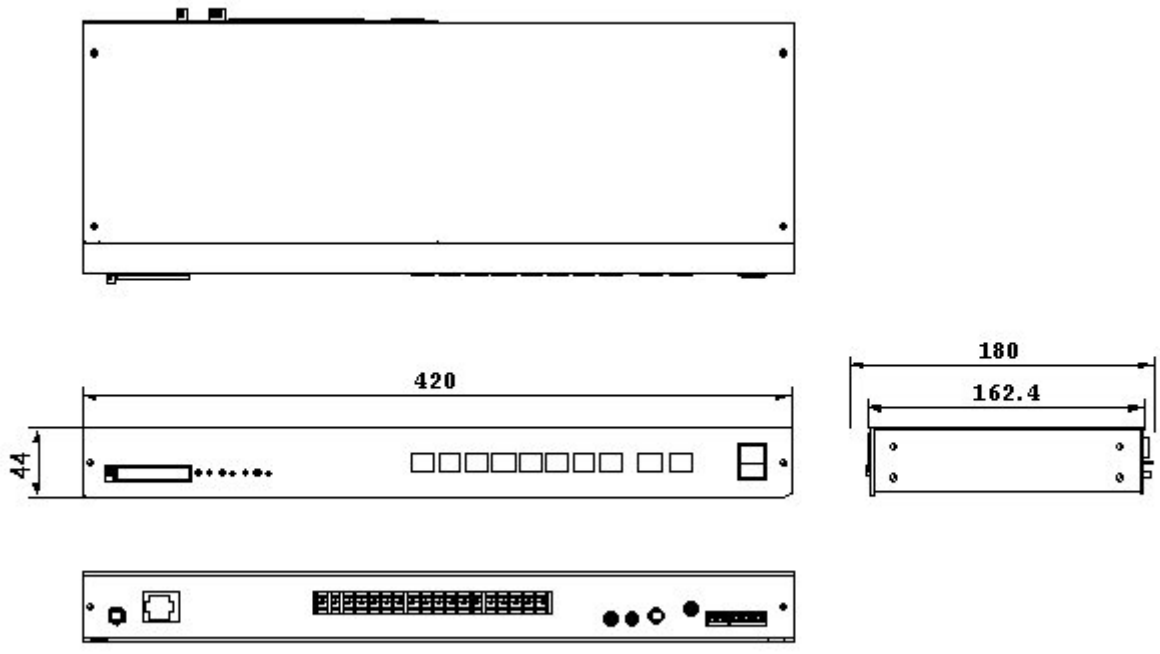
(注)混在サンプリングモード対応

再生時間	ダイレクト録音の場合 録音した時間 登録エディタの場合 登録した時間またはプログラム内容による
制 御	●押しボタン 接点制御：8CH 録音/再生 1～8-プッシュロック STOP/REC-プッシュ ●端子台 接点制御：8CH 録音/再生 バイナリ制御：再生 255CHmax. IN：/1-8/STOP /OP/REC 無電圧メーク接点または NPN オープンコレクタ OUT：/BUSY/ALM オープンコレクタ出力（DC+50V 500mA）
再生モード	接点制御：通常再生/後入力切替/優先順位/順番再生 バイナリ制御：標準バイナリ制御モード リアパネル DIPSW で設定
インターバルタイマー	0/5/10/15 分 （通常再生モード時有効） リアパネル DIPSW で設定
その他	●登録エディタ VoiceNavi Editor（VoiceMaker3） 対応 既存 WAVE ファイルを登録し、カード作成できます。 組立再生、リピート回数設定などのプログラム登録ができます。 組立再生 1 接点-8wave max. リピート回数 1 接点-5 回 max. ●自動 WAVE ファイル形式保存 録音したデータは WAVE ファイル形式でカード内に保存します ●個別 CH 録音プロテクトスイッチ 1-4CH DIPSW ●WAV シリーズ互換性 44.1/22.05KHz8Bit 録音した場合、WAV シリーズ上で互換性を有します。 ●5W マイク放送モード マイク放送モードに設定しますと、5W マイク放送ができます。
オプション	VoiceNavi Editor(VoiceMaker3) CD 版･無償ダウンロード版 VoiceNavi Editor(VoiceMaker3)パック （カードアダプタ付） Flash カード「コンパクトフラシュ」 32/64/128/256MB(メーカー･型式指定有) WAV-L44 補助金具 EIA ラック収納 1 台用 WAV-LKANAGU L 金具

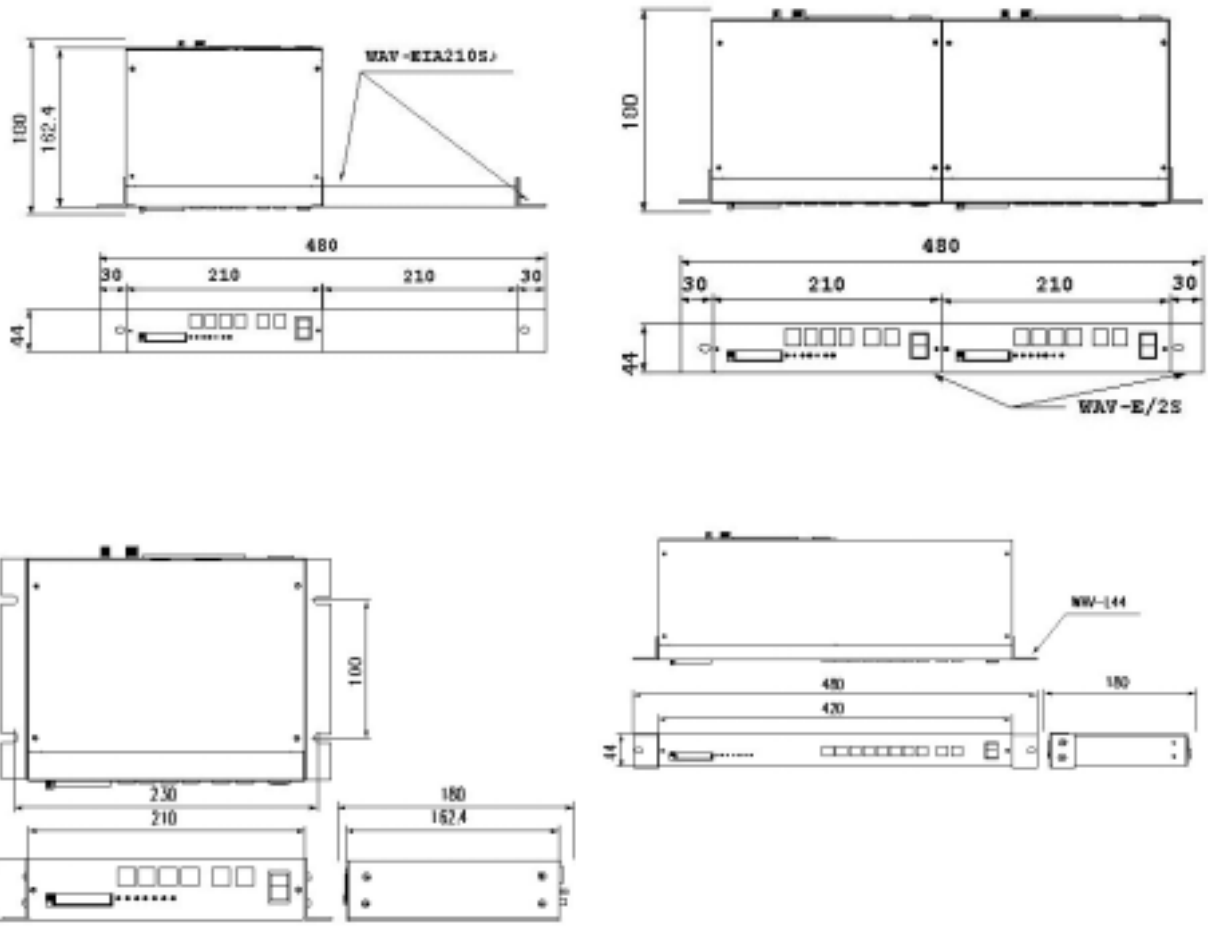
【外観図　WRX7200】



【外観図　WRX7700】



WRX7200

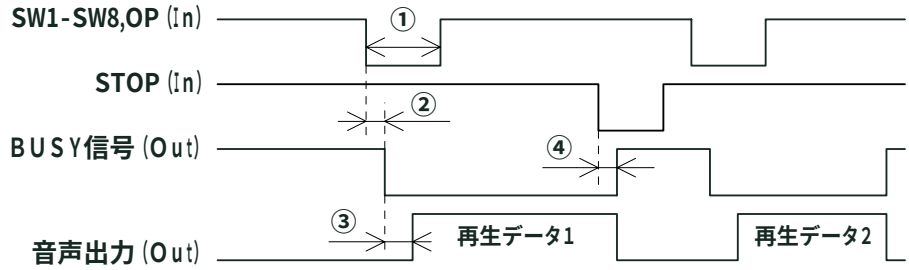


■入出力信号＆タイミングチャート

信号名	ホスト側	内容	パルス幅	備考
/1-4 (8)	OUT	無電圧メーク接点または NPN オープンコレクタ	50mS 以上	
/OP	OUT	無電圧メーク接点または NPN オープンコレクタ	50mS 以上	
/STOP	OUT	無電圧メーク接点または NPN オープンコレクタ	50mS 以上	
/REC(P/R)	OUT	無電圧メーク接点または NPN オープンコレクタ	50mS 以上	WRX7700 装備
/BUSY	IN	オープンコレクタ　DC＋50V　500mA		
/ALM	IN	オープンコレクタ　DC＋50V　500mA		WRX7700 装備

■接点制御　再生の場合

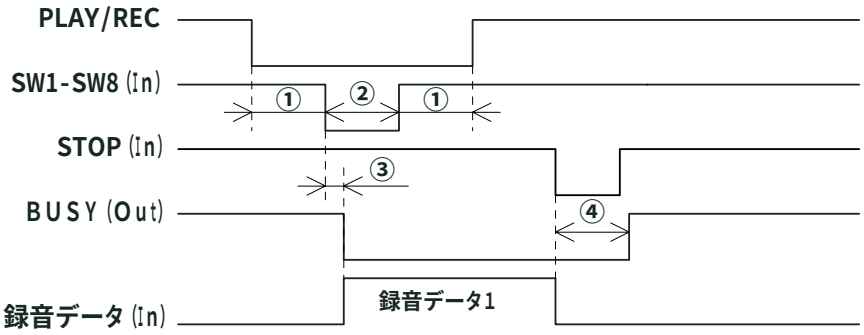
No.	信号名称	時間
①	SW/OP 入力時間	50ms min.
②	BUSY 出力タイミング	50ms max.
③	音声出力タイミング	130ms max.
④	音声終了タイミング	50ms max.



■接点制御　録音の場合

No.	信号名称	時間
①	SW 入力タイミング	50ms min.
②	SW 入力時間	50ms min.
③	RBUSY 出力タイミング	50ms max.
④	RBUSY 終了タイミング	1.5S max.

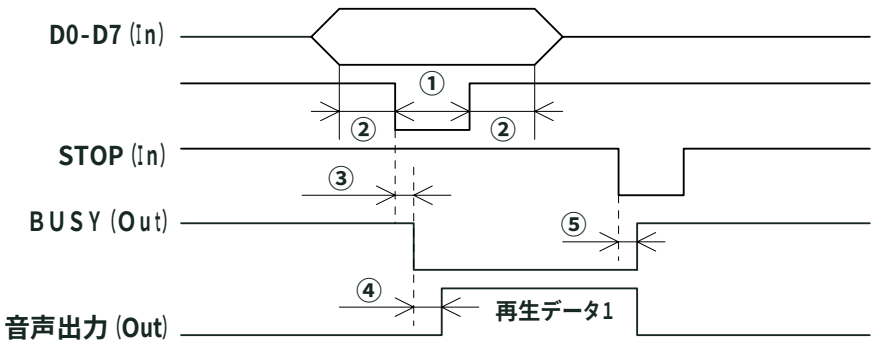
注. 終了時は録音データの取り込みが終了しても、CF カードへの処理等の関係で、「RBUSY」が復帰するのに約 1.5 秒程度遅れます



■バイナリ制御の場合　(注) 再生専用―録音制御はできません。

No.	信号名称	時間
①	OP 入力時間	50ms min.
②	データセットアップ時間	50ms min.
③	BUSY 出力タイミング	50ms max.
④	音声出力タイミング	130ms max.
⑤	音声終了タイミング	50ms max.

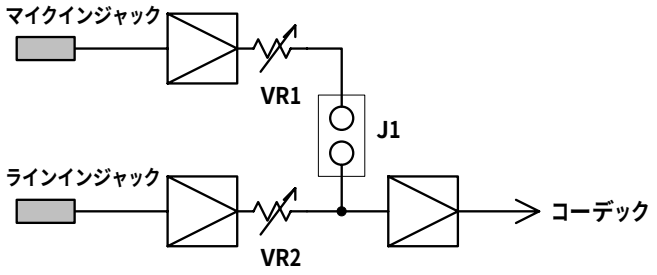
注. BUSY 出力は PBUSY を含みます



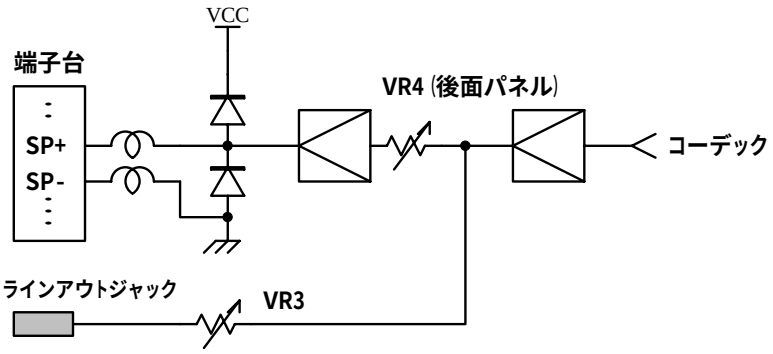
■等価回路　(注)耐ノイズ･耐振動対策した＜FA 仕様＞ではありません。

【マイクイン･ラインイン】

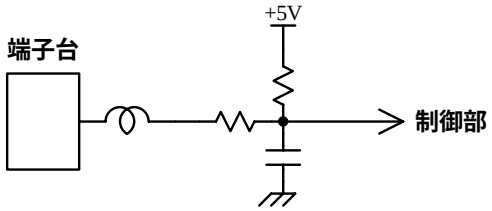
＊出荷時は J1 ショート



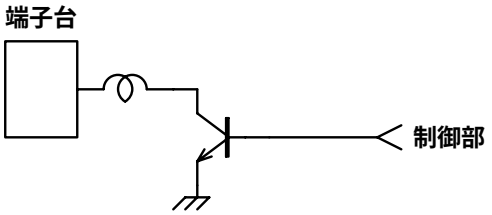
【スピーカーアウト･ラインアウト】



【入力信号ライン】　SW1-4(8)　OP　STOP

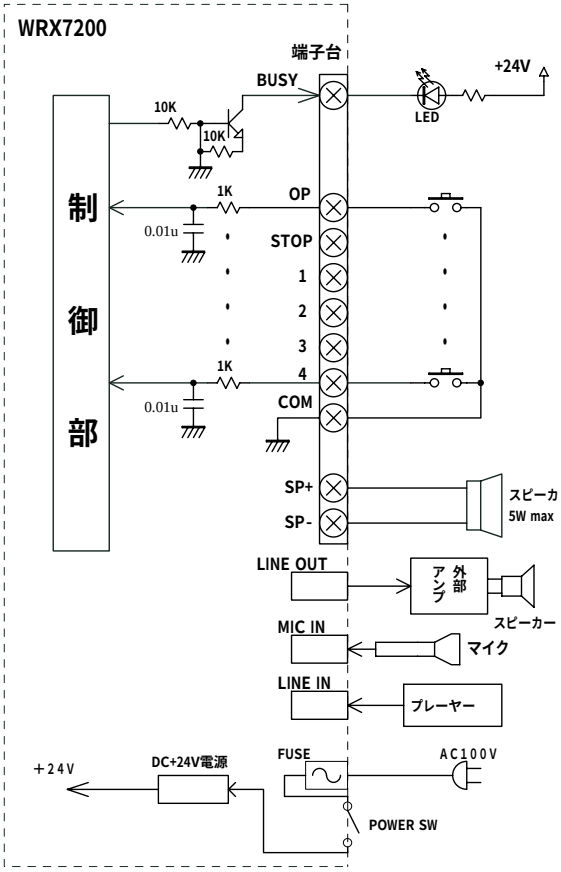


【出力信号ライン】　BUSY　ALM

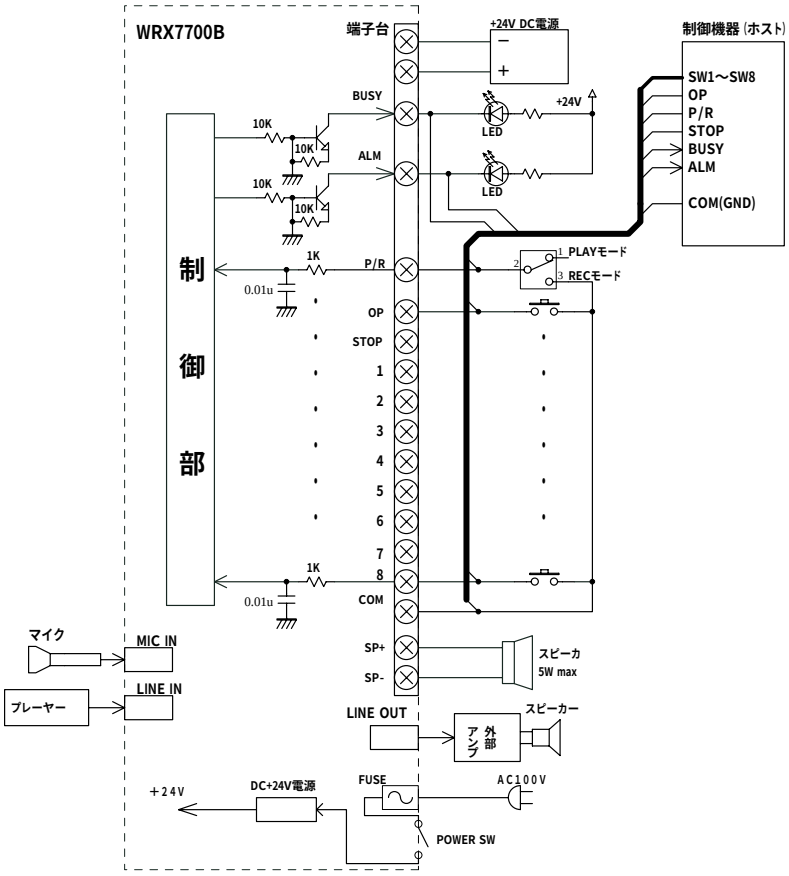


■接続参考図

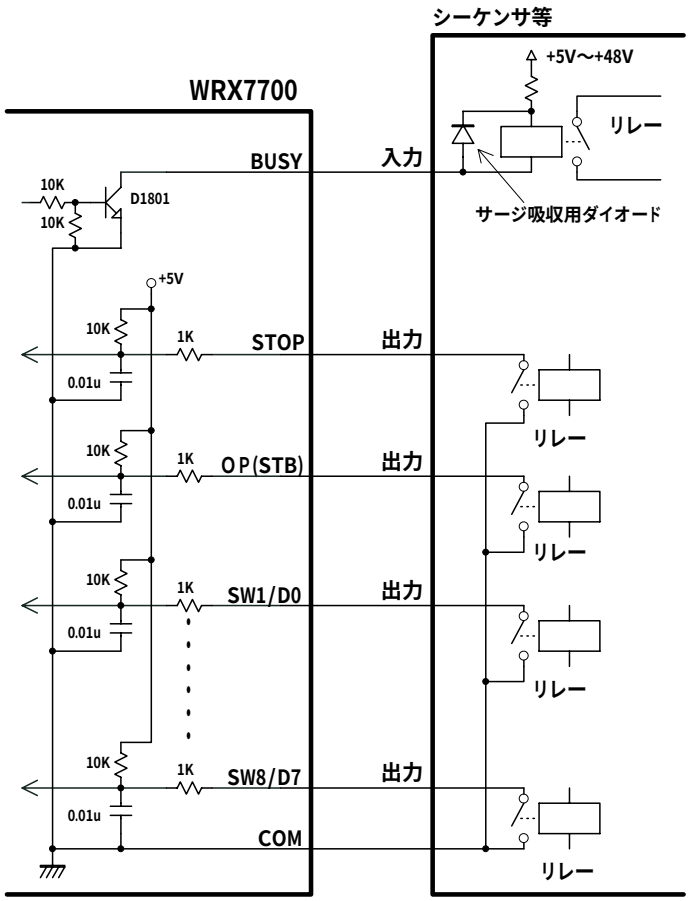
【WRX7200】



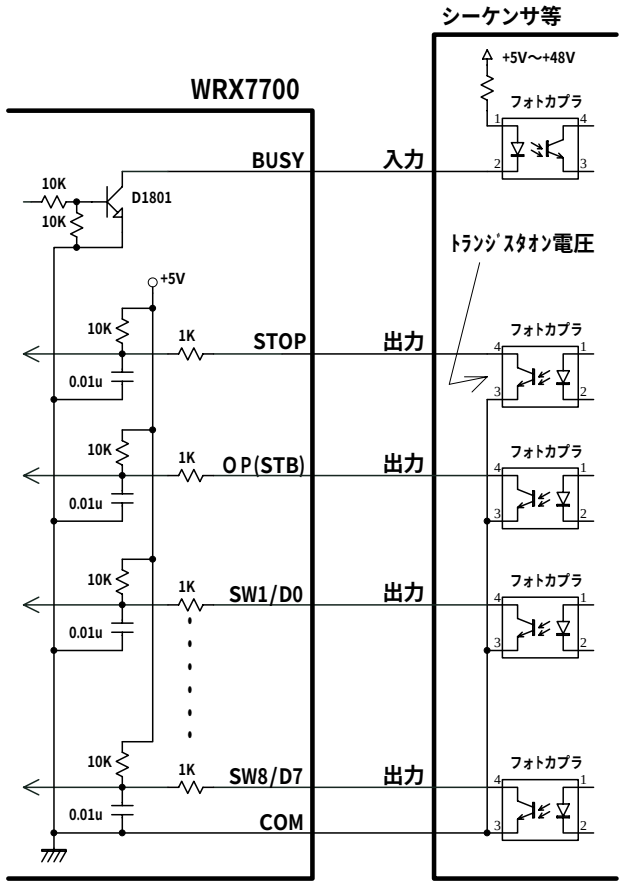
【WRX7700】 録音はスイッチで、再生はホストより 255CH バイナリ制御



■接続参考図 WRX7700(WRX7200)とシーケンサ等との接続



(お願い)
リレーのコイルをドライブする時はコイル間にサージ吸収用のダイオード(繰り返し尖頭逆電圧及び直流逆電圧は、外部のサージも考慮して余裕のあるもの、また平均整流電流はコイル電流以上のダイオード)を付加して下さい。



(注)
トランジスタのオン電圧が0.8V以下のものを御使用願います。

■エラー対策シート (トラブルシューティング)

【パソコン･カードアダプタ･登録エディタ VoiceNavi Editor (VoiceMaker3) がない場合】

再生しない場合の簡単なチェック方法	**●カードデータファイル .wpj の有無** **●WAVE ファイル .wav の有無**	全再生（｜STOP＋SW1｜）で全チャンネル (ファイル在中チャンネルのみ) 再生。

困った状態	LED表示	原因	対処方法
カードに録音できない	REC LED が点灯しない	プロテクト SW が ON になっている	プロテクト SW を OFF にする
	REC LED が点灯しない	個別 CH プロテクト SW が ON になってる	個別 CH プロテクト SW が OFF にする
	REC LED が点灯しない	登録エディタで登録した WAVE ファイル名が不適当	登録エディタで登録した WAVE ファイル名が WRX***.wav になっていない。パソコン上でファイル名変更し、カードデータ作成し直し、コピーします。
	REC LED が点灯しない	カード不適合 またはカード故障	使用できないまたは不良のコンパクトフラシュです。 他メーカーのコンパクトフラシュをお試し下さい。
録音時、「音飛び」して、途中終了	REC LED 点灯し、途中消灯	不良セクターを検出	STOP+SW4 ON で初期化処理してから、録音します。 または Windows パソコン上でフォーマットしてから録音。
再生時の音量が小さい		音量ボリューム 「小」	再調整
		録音時の入力レベルが小さい	再録音。 パソコン･カードアダプタがある場合、録音ソフトで増幅します。
再生時、ビットノイズ		レベルオーバーで録音	レベルオーバーした個所がビットノイズになります。 この場合、再録音しか対処方法はありません。
再生時、全体的にノイズが多い。		マイク入力の場合、周囲の音まで拾っている	静音環境下、44.1KHz 16Bit (または 22.05KHz 16Bit) で録音し直します。
音割れしている		音量ボリューム	再調整
再生しない接点･アドレスがある		接続ミス	接続参考図を参照の上、再接続
	PLAY の LED が点滅 *1	その接点･アドレスに対応したデータがない	録音していていない CH
まったく再生しない		録音していない	録音していない
		音量ボリューム 「小」	再調整
		接続ミス	コネクタの接続を点検し (特に COM 端子部)、再接続
		制御ミス	データのない CH を再生制御している
		再生モード設定ミス	再生モードを確認し、再設定
初期化処理ができない。 オールクリア処理ができない。		プロテクト SW 個別 CH プロテクト SW	OFF にする
		カード不適合 またはカード故障	使用できないまたは不良のコンパクトフラシュです。 他メーカーのコンパクトフラシュをお試し下さい。

(注) ＊1 再生の起動時にPLAYのLEDが点滅します。STOP入力にて消灯します。

【登録エディタ VoiceNavi Editor (VoiceMaker3) でカード作成したカードの場合】

Windows パソコン、カードアダプタ、登録エディタ VoiceNavi Editor (VoiceMaker3) があることを前提とします。
カードアダプタ経由で CF カードへダイレクトにアクセスできますが、事前に CF カードの内容をハードディスクへバックしてから行って下さい。

困った状態	LED表示	原因	対処方法
あるチャンネルが再生しない	PLAY LED 点滅 *1	コピー漏れその接点･アドレスに対応した WAVE ファイルがない	CF カードへコピー時、その WAVE ファイルをコピー漏れした。 その WAVE ファイルを CF カードにコピーします。
		コピー異常	CF カード内に WAVE ファイルがあるが、再生できない現象。CF カードへその WAVE ファイルへコピー。 それでも再生しない場合は、CF カードをフォーマットし、カードデータをコピーして下さい。
		WRX シリーズに適応していない WAVE ファイル	パソコン上でも再生できても、WRX シリーズ上では再生できない。主にどこかからコピーした効果音等。
まったく再生しない	PLAY LED 点滅 *2	CF カードが DOS フォーマットされていない	デジタルカメラでフォーマットした場合、発生する場合があります。 CF カードをフォーマット後、カードデータ（wpj ファイル，WAVE ファイル）をコピーします。
	PLAY LED 点滅 *2	カード内にカードデータファイル（xxx．wpj）がない	VoiceNavi Editor（VoiceMaker3）でカード内の.wpj ファイルを読み込み、レポート出力して確認。 データファイルがない場合、VoiceNavi Editor（VoiceMaker3）で作成し、コピーします。
	PLAY LED 点滅 *1	WAVE ファイル（xxx．wav）がカード内にない	VoiceNavi Editor（VoiceMaker3）でカード内の.wpj ファイルを読み込み、レポート出力して確認。 ない場合、WAVE ファイルをコピーします。
	PLAY LED 点滅 *1	WAVE ファイル（xxx．wav）のファイル名（xxx）が認識できない	ファイル名に使用できる文字は「数字」と大／小のアルファベットの半角 8 文字までです。 ファイル名変更後、再度 VoiceNavi Editor（VoiceMaker3）にて編集･作成を行ないます
		録音していない	録音していない
		音量ボリューム「小」	再調整
		接続ミス	コネクタの接続を点検し（特に COM 端子部）、再接続
		制御ミス	データのない CH を再生制御している
		再生モード設定ミス	再生モードを確認し、再設定
ボタン、接点端子と再生するチャンネルが一致しない		アドレス登録ミス	VoiceNavi Editor（VoiceMaker3）で CF カード内のカードデータファイル .wpj を読み込み、アドレス･プログラム登録画面で PLAY/ALL PLAY で試聴。 登録ミスの場合、登録変更し、カード作成後、CF カードへコピー。
		接続ミス	コネクタの接続を点検し（特に COM 端子部）、再接続
		制御ミス	データのない CH を再生制御している
組立再生しないリピート回数再生しない、回数が違う		プログラム登録ミス	VoiceNavi Editor（VoiceMaker3）で CF カード内のカードデータファイル .wpj を読み込み、アドレス･プログラム登録画面で PLAY/ALL PLAY で試聴。 登録ミスの場合、登録変更し、カード作成後、CF カードへコピー。
ALM ランプが点灯している		ノイズ等で CPU 暴走	何らかのノイズで CPU が暴走しました。 自己復旧機能でリセットしますが、ALM LED は電源 OFF まで保持します。 ノイズ対策を行って下さい。

(注) *1 PLAY LED 点滅　STOP 入力にて消灯します。

(注) Windows95/98/Me/NT/2000/XP は Microsoft 社の商品名･商標登録です。
その他の商品･社名は各社の商標または登録商標です。本書記載の仕様･概観は改良等により、予告なく変更になることがあります。

VoiceNavi 三共電子株式会社　02－WRX-B7-UM-01 G020926
〒381-3203 長野県上水内郡中条村中条 38 TEL 026-268-3950 FAX 026-268-3105
URL http://www.voicenavi.co.jp/ E-mail:info@voicenavi.co.jp